

令和5年度
文化芸術の振興に関する
県民アンケート
単純集計結果

令和5年度
秋田県観光文化スポーツ部
文化振興課

調査の概要

1 調査の目的

- (1) 文化芸術の振興に対する県民意識を把握し、「あきた文化振興ビジョン」の進行管理に活用する。
- (2) 政策等評価において、県民意識を取り入れる手法の一つとして活用する。
- (3) 県民の提案や要望を把握し、取組の推進や課題の解決、計画の策定に反映させる。

2 調査方法

- (1) 調査地域：秋田県に居住する満18歳以上の男女
- (2) 標本数：2,000人
- (3) 標本抽出方法：全県25市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法
- (4) 調査手法：往復郵送によるアンケート方式（インターネット回答併用）
- (5) 調査期間：令和5年11月27日(月)～12月17日(日)
- (6) 調査機関：株式会社 フィデア情報総研

3 回収結果

- (1) 調査票回収数：970人（回収率 48.5%）
- (2) 有効回答数：970人（有効回答率 48.5%）

※1問以上に回答しているものを有効回答とする。

4 集計に当たって

- (1) 比率（%）は小数点以下第2位を四捨五入している。0.1%に満たない場合は「0.0」と表記し、該当者が皆無の場合は「-」と表記する。また、比率は四捨五入しているため、合計が100%にならないこと（99.9%、100.1%など）がある。

Q あなたご自身について

あなたご自身のことについてお聞かせください。

F1 性別（○は1つ）

1 男性	<u>45.2%</u>
2 女性	<u>53.4%</u>
3 無回答	<u>0.9%</u>

F2 年齢層（○は1つ）

1 19歳以下	<u>1.2%</u>	5 50～59歳	<u>20.4%</u>
2 20～29歳	<u>6.0%</u>	6 60～69歳	<u>24.6%</u>
3 30～39歳	<u>9.6%</u>	7 70～79歳	<u>16.5%</u>
4 40～49歳	<u>16.2%</u>	8 80歳以上	<u>4.8%</u>
		無回答	<u>0.6%</u>

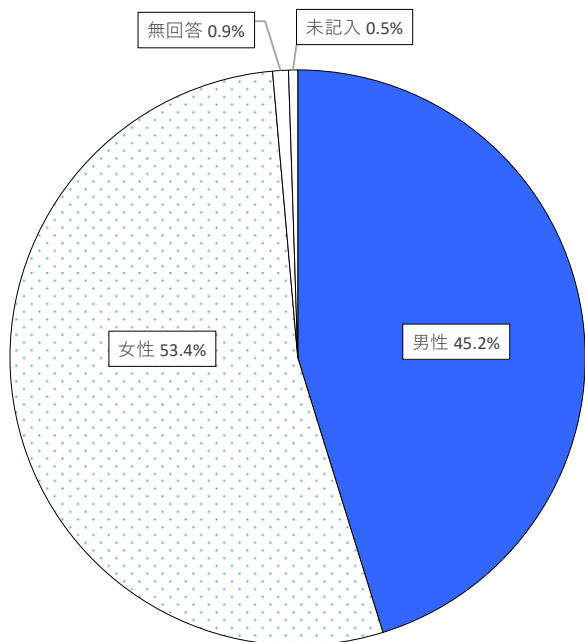
F3 居住地域（○は1つ）

1 鹿角地域（鹿角市・小坂町）	<u>3.5%</u>
2 北秋田地域（大館市・北秋田市・上小阿仁村）	<u>10.3%</u>
3 山本地域（能代市・藤里町・三種町・八峰町）	<u>7.3%</u>
4 秋田地域（秋田市）	<u>33.1%</u>
5 秋田地域（男鹿市・潟上市・五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村）	<u>7.5%</u>
6 由利地域（由利本荘市・にかほ市）	<u>10.7%</u>
7 仙北地域（大仙市・仙北市・美郷町）	<u>12.3%</u>
8 平鹿地域（横手市）	<u>9.2%</u>
9 雄勝地域（湯沢市・羽後町・東成瀬村）	<u>5.6%</u>
	無回答 <u>0.5%</u>

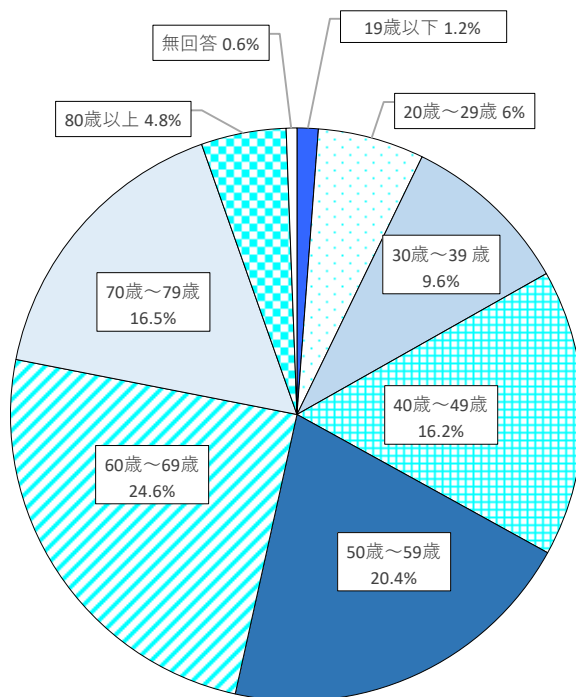
F4 職業（○は1つ）

1 正規の職員・従業員（役員を含む）	<u>39.6%</u>
2 非正規の職員・従業員（期間従業員、契約社員、派遣社員を含む）	<u>14.6%</u>
3 自営業主・自由業（自分で、又は共同で事業を営んでいる）	<u>7.9%</u>
4 家族従業者（家族が営んでいる事業を手伝っている）	<u>2.2%</u>
5 主婦・主夫	<u>13.7%</u>
6 学生	<u>2.0%</u>
7 リタイア、無職	<u>17.0%</u>
8 その他	<u>2.3%</u>
	無回答 <u>0.7%</u>

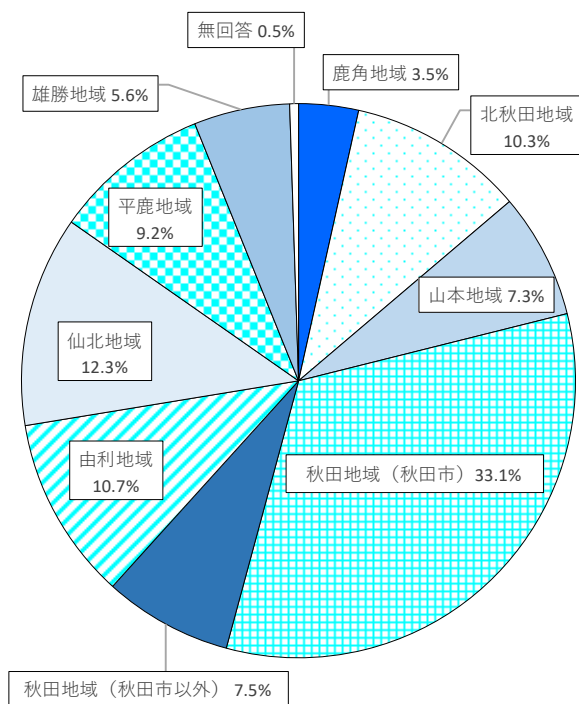
F 1 性別



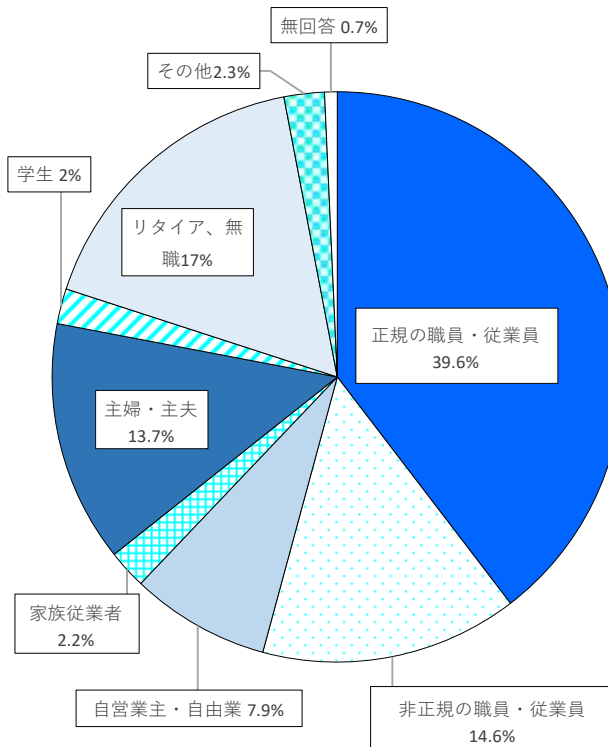
F 2 年齢層



F 3 居住地域



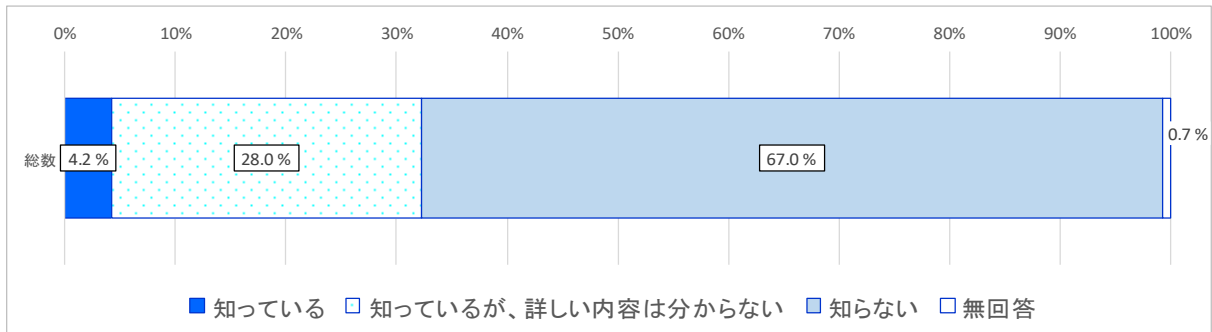
F 4 職業



1 あなたの文化芸術に対する意識について

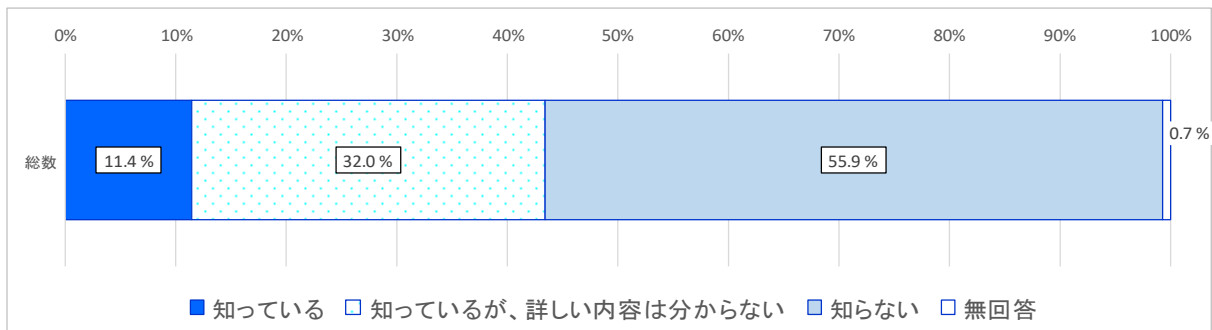
Q1 あなたは、県が策定している文化芸術の推進に関する計画「あきた文化振興ビジョン」を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 知っている | 4.2% |
| 2 知っているが、詳しい内容は分からない | 28.0% |
| 3 知らない | 67.0% |
| 無回答 | 0.7% |



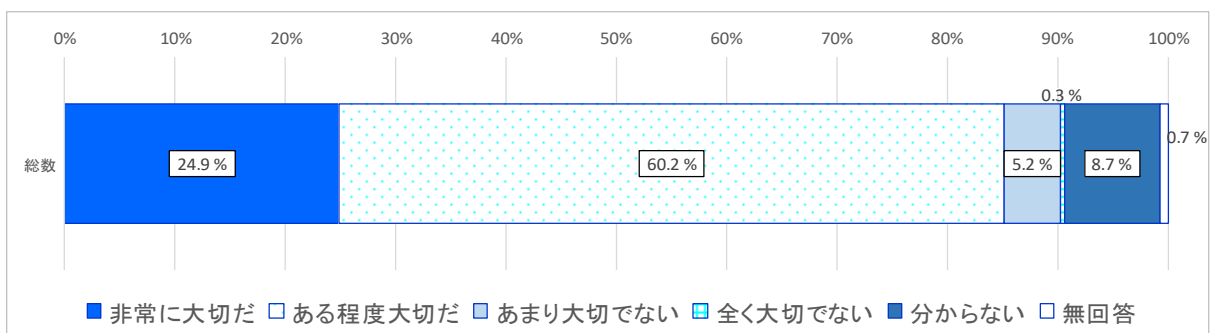
Q1-2 あなたは、文化芸術をつくり楽しむことが、人の生まれながらの権利であることを知っていますか。※世界人権宣言や文化芸術基本法で定められている権利 (○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 知っている | 11.4% |
| 2 知っているが、詳しい内容は分からない | 32.0% |
| 3 知らない | 55.9% |
| 無回答 | 0.7% |



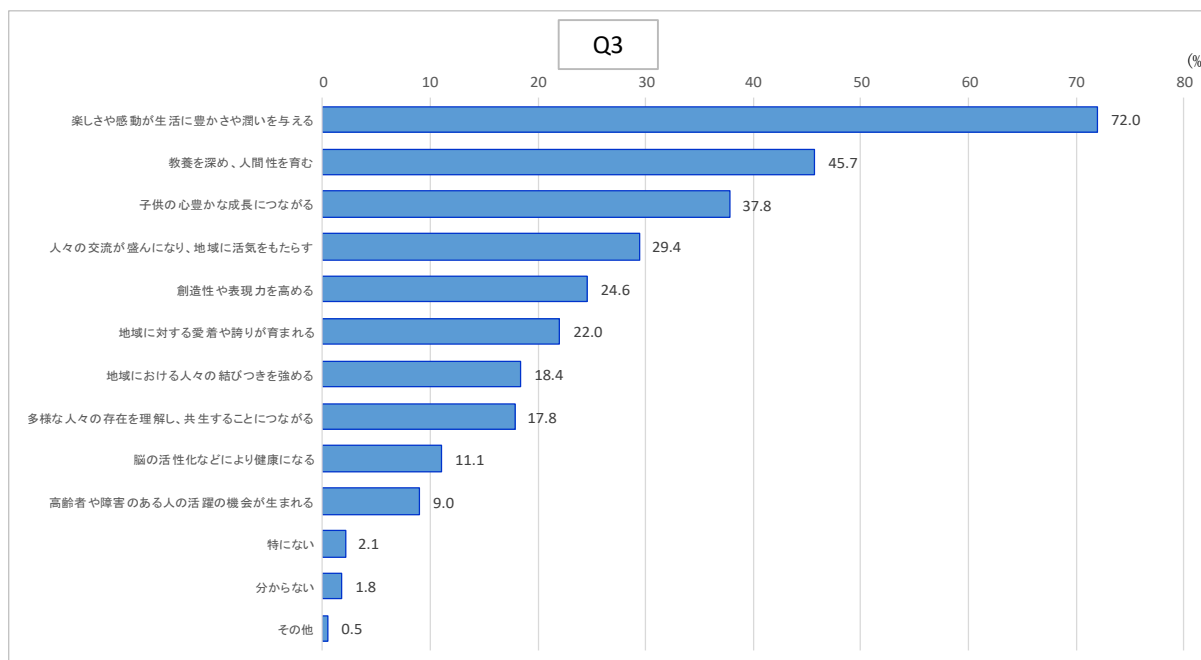
Q2 あなたは、日常生活の中で、文化芸術を鑑賞したり、自ら文化芸術活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------|-----------|------|
| 1 非常に大切だ | 24.9% | 4 全く大切でない | 0.3% |
| 2 ある程度大切だ | 60.2% | 5 分からない | 8.7% |
| 3 あまり大切でない | 5.2% | 無回答 | 0.7% |



Q3 あなたは、文化芸術が果たす役割についてどのように考えますか。
 (当てはまると思う順に1位から3位まで)

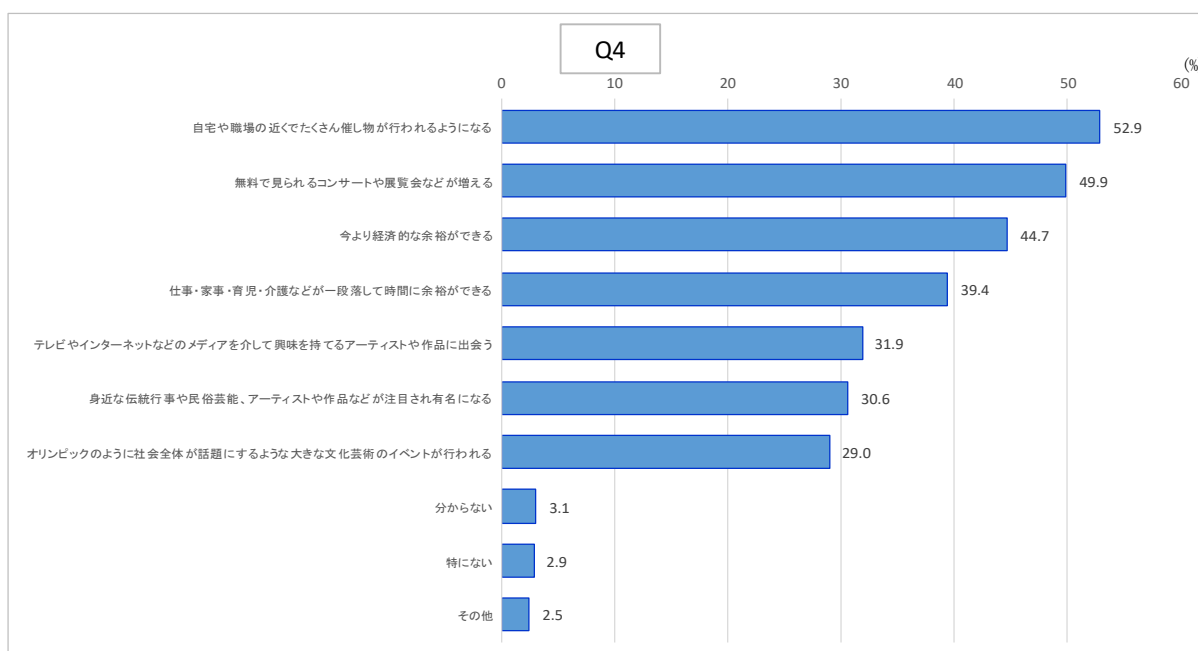
1	楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える	72.0%
2	教養を深め、人間性を育む	45.7%
3	地域に対する愛着や誇りが育まれる	22.0%
4	地域における人々の結び付きを強める	18.4%
5	子供の心豊かな成長につながる	37.8%
6	人々の交流が盛んになり、地域に活気をもたらす	29.4%
7	高齢者や障害のある人の活躍の機会が生まれる	9.0%
8	脳の活性化などにより健康になる	11.1%
9	創造性や表現力を高める	24.6%
10	多様な人々の存在を理解し、共生することにつながる	17.8%
11	その他 ()	0.5%
12	特にない	2.1%
13	分からない	1.8%
	無回答	1.4%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q4 あなたは、どのようなことがあれば、人々が文化芸術にもっと関心を持つようになると思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

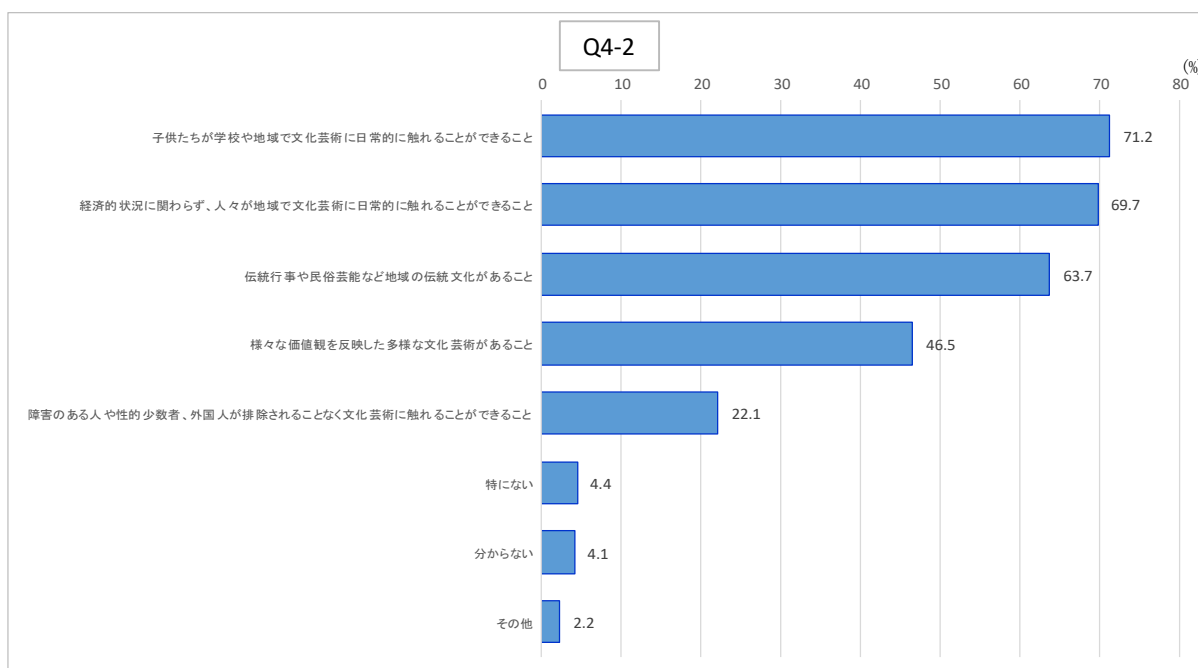
1	自宅や職場の近くでたくさん催し物が行われるようになる	<u>52.9%</u>
2	オリンピックのように社会全体が話題にするような大きな文化芸術のイベントが行われる	<u>29.0%</u>
3	仕事・家事・育児・介護などが一段落して時間に余裕ができる	<u>39.4%</u>
4	今より経済的な余裕ができる	<u>44.7%</u>
5	無料で見られるコンサートや展覧会などが増える	<u>49.9%</u>
6	テレビやインターネットなどのメディアを介して興味を持てるアーティストや作品に出会う	<u>31.9%</u>
7	身近な伝統行事や民俗芸能、アーティストや作品などが注目され有名になる	<u>30.6%</u>
8	その他 ()	<u>2.5%</u>
9	特にない	<u>2.9%</u>
10	分からない	<u>3.1%</u>
	無回答	<u>2.6%</u>



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q4-2 あなたが秋田県に住み続ける上で、文化芸術活動に関してどのようなことが重要だと思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

1	伝統行事や民俗芸能など地域の伝統文化があること	63.7%
2	様々な価値観を反映した多様な文化芸術があること	46.5%
3	子供たちが学校や地域で文化芸術に日常的に触れることができること	71.2%
4	経済的状況に関わらず、人々が地域で文化芸術に日常的に触れることができること	69.7%
5	障害者のある人や性的少数者、外国人が排除されことなく文化芸術に触れることができること	22.1%
6	その他 ()	2.2%
7	特にない	4.4%
8	分からない	4.1%
	無回答	2.6%



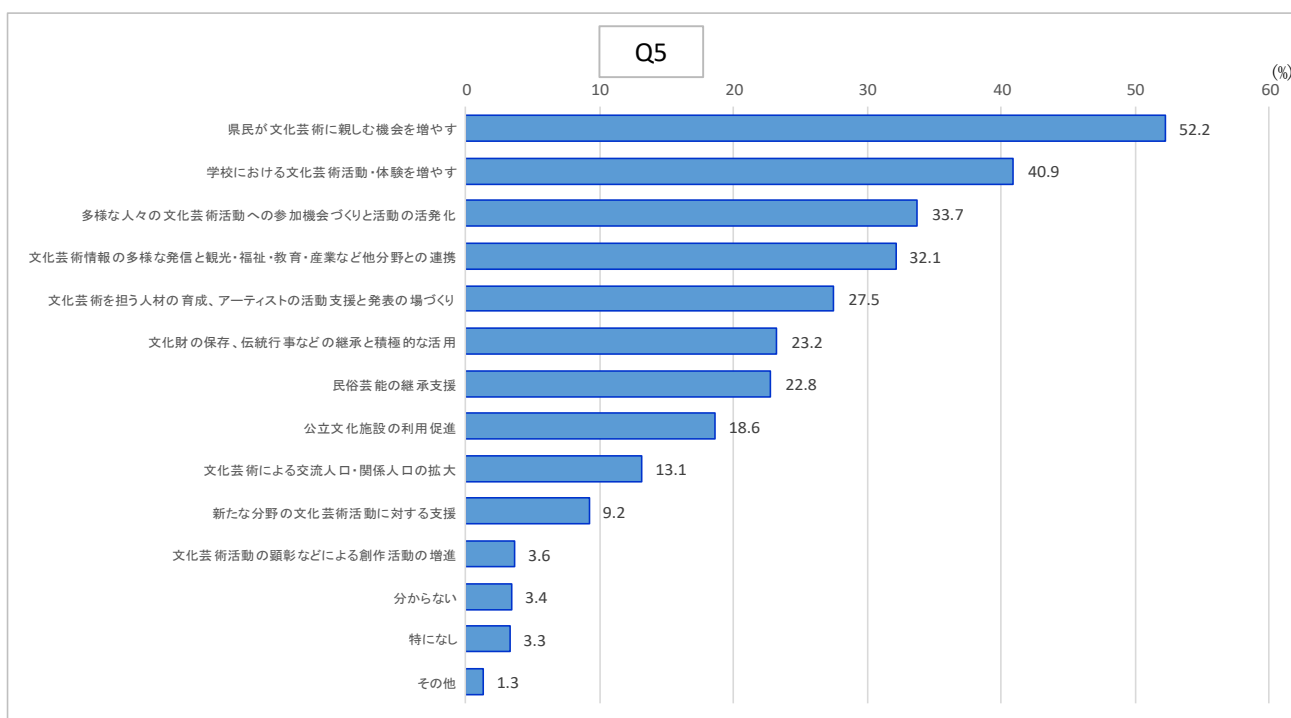
※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

2 秋田県の文化芸術施策の推進について

Q5 あなたは、次の施策のうち、どれを重視すべきと考えますか。

(当てはまると思う順に1位から3位まで)

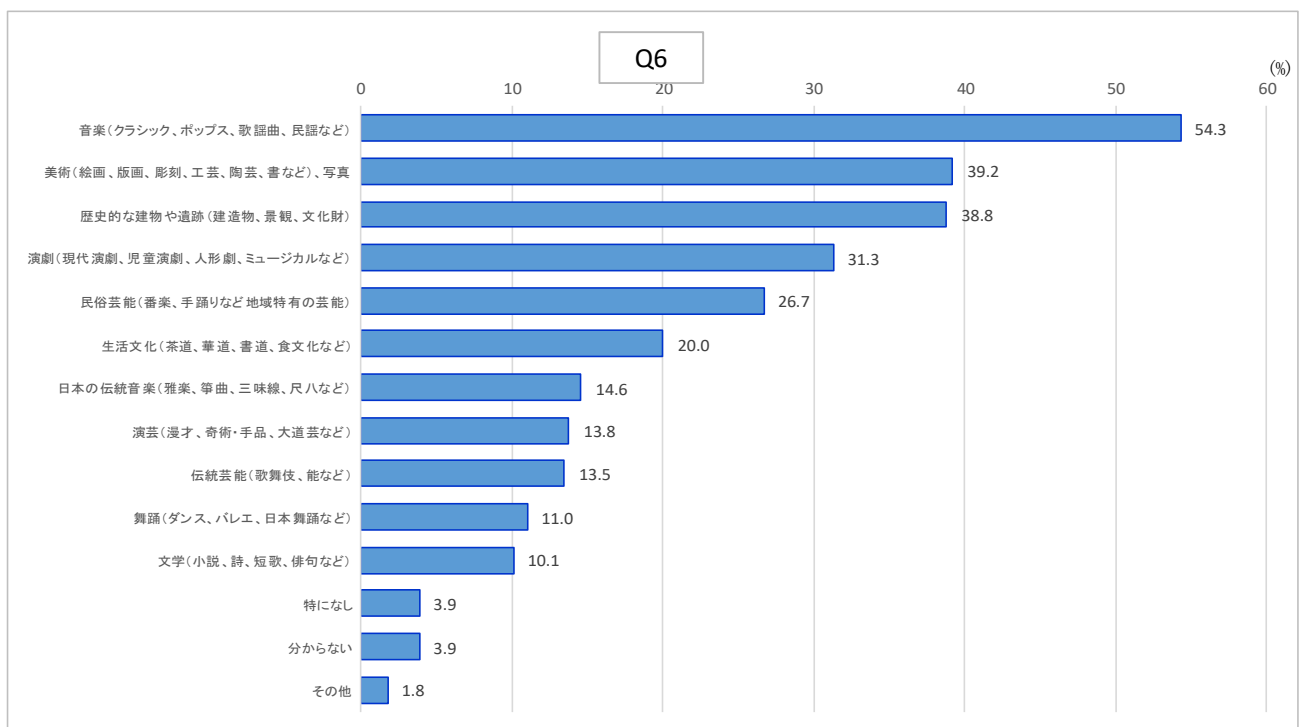
1	多様な人々の文化芸術活動への参加機会づくりと活動の活発化	33.7%
2	県民が文化芸術に親しむ機会を増やす	52.2%
3	公立文化施設の利用促進	18.6%
4	文化芸術活動の顕彰などによる創作活動の増進	3.6%
5	学校における文化芸術活動・体験を増やす	40.9%
6	文化芸術を担う人材の育成、アーティストの活動支援と発表の場づくり	27.5%
7	民俗芸能の継承支援	22.8%
8	文化財の保存、伝統行事などの継承と積極的な活用	23.2%
9	新たな分野の文化芸術活動に対する支援	9.2%
10	文化芸術による交流人口・関係人口の拡大	13.1%
11	文化芸術情報の多様な発信と観光・福祉・教育・産業など他分野との連携	32.1%
12	その他 ()	1.3%
13	特になし	3.3%
14	分からない	3.4%
	無回答	2.5%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q6 あなたは、特にどのような分野の施策を進めてほしいと思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

1	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	10.1%
2	音楽（クラシック、ポップス、歌謡曲、民謡など）	54.3%
3	日本の伝統音楽（雅楽、箏曲、三味線、尺八など）	14.6%
4	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など）、写真	39.2%
5	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	31.3%
6	舞踊（ダンス、バレエ、日本舞踊など）	11.0%
7	演芸（漫才、奇術・手品、大道芸など）	13.8%
8	伝統芸能（歌舞伎、能など）	13.5%
9	民俗芸能（番楽、手踊りなど地域特有の芸能）	26.7%
10	生活文化（茶道、華道、書道、食文化など）	20.0%
11	歴史的な建物や遺跡（建造物、景観、文化財）	38.8%
12	その他（	1.8%
13	特になし	3.9%
14	分からない	3.9%
	無回答	2.8%

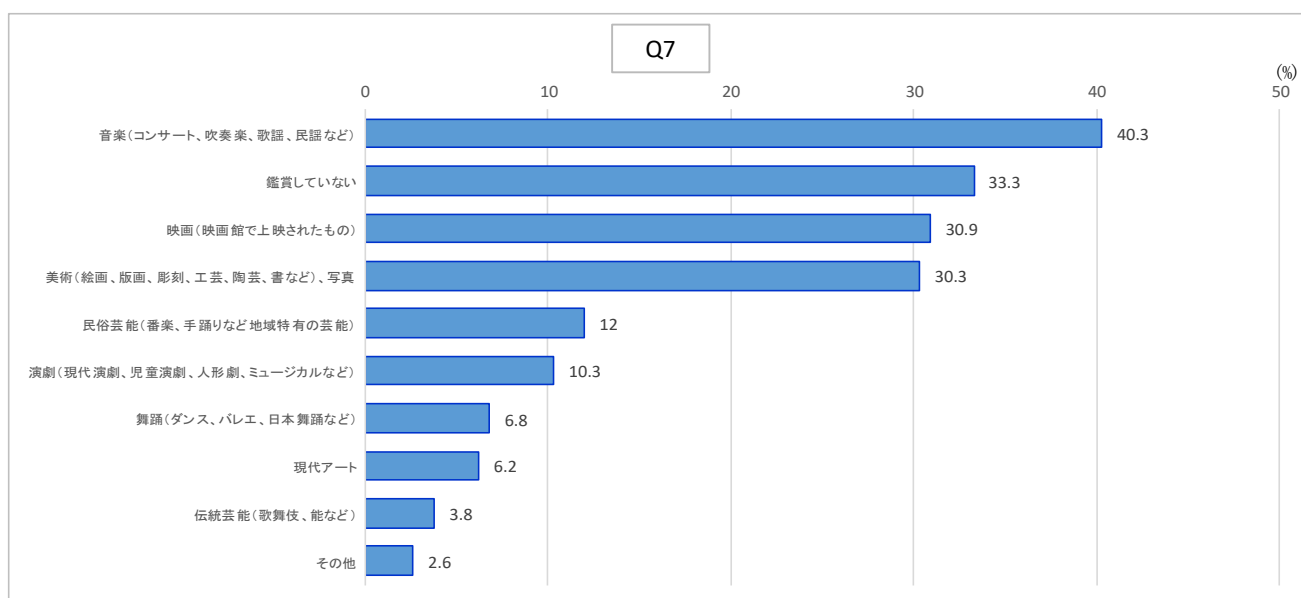


※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

3 文化芸術との関わりについて

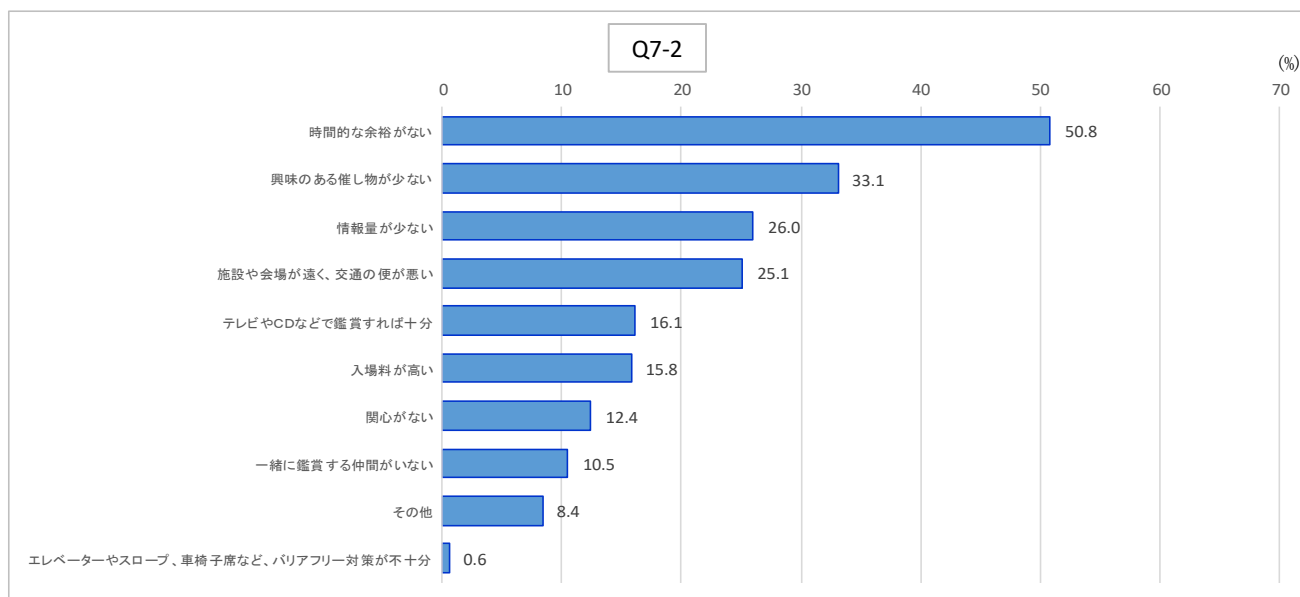
Q7 あなたがこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）に出向いて直接鑑賞した文化芸術イベントはありますか。（〇はいくつでも）

1	音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡、民謡など）	40.3%
2	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など）、写真	30.3%
3	演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）	10.3%
4	舞踊（ダンス、バレエ、日本舞踊など）	6.8%
5	映画（映画館で上映されたもの）	30.9%
6	伝統芸能（歌舞伎、能など）	3.8%
7	民俗芸能（番楽、手踊りなど地域特有の芸能）	12.0%
8	現代アート	6.2%
9	その他（ ）	2.6%
10	鑑賞していない	33.3%
	無回答	0.7%



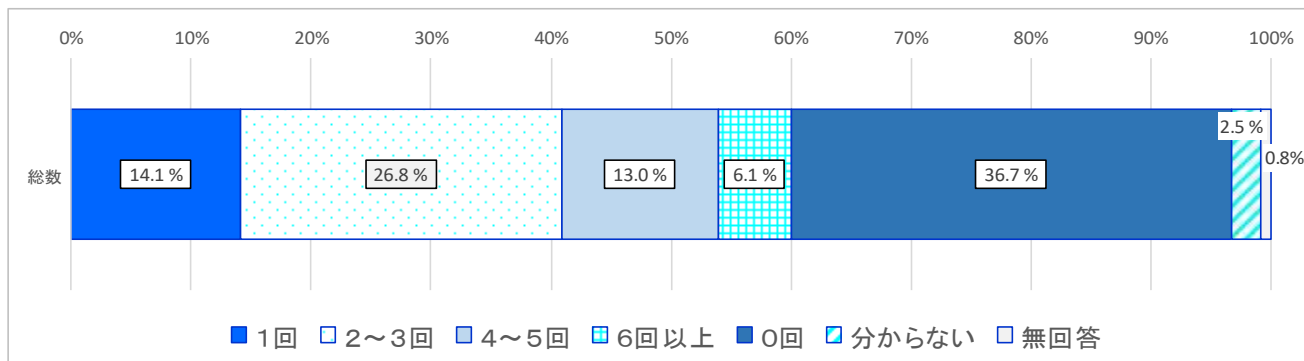
Q7-2 Q7で「10 鑑賞していない」と答えた方にお聞きます。
 文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1	時間的な余裕がない	<u>50.8%</u>
2	興味のある催し物が少ない	<u>33.1%</u>
3	入場料が高い	<u>15.8%</u>
4	情報量が少ない	<u>26.0%</u>
5	施設や会場が遠く、交通の便が悪い	<u>25.1%</u>
6	一緒に鑑賞する仲間がいない	<u>10.5%</u>
7	エレベーターやスロープ、車椅子席など、バリアフリー対策が不十分	<u>0.6%</u>
8	テレビやCDなどで鑑賞すれば十分	<u>16.1%</u>
9	関心がない	<u>12.4%</u>
10	その他 ()	<u>8.4%</u>
	無回答	<u>0.0%</u>



Q8 あなたはこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）で開催された文化芸術イベントに何回行きましたか。（〇は1つ）

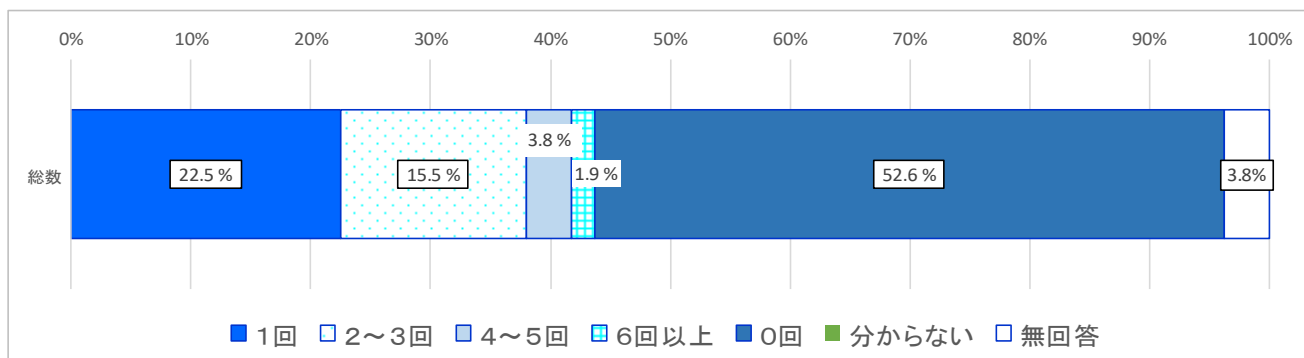
1 1回	<u>14.1%</u>	4 6回以上	<u>6.1%</u>
2 2～3回	<u>26.8%</u>	5 0回	<u>36.7%</u>
3 4～5回	<u>13.0%</u>	6 分からない	<u>2.5%</u>
		無回答	<u>0.8%</u>



Q8-2 Q8で「1～4」と答えた方にお聞きます。

そのうち、「県外」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（〇は1つ）

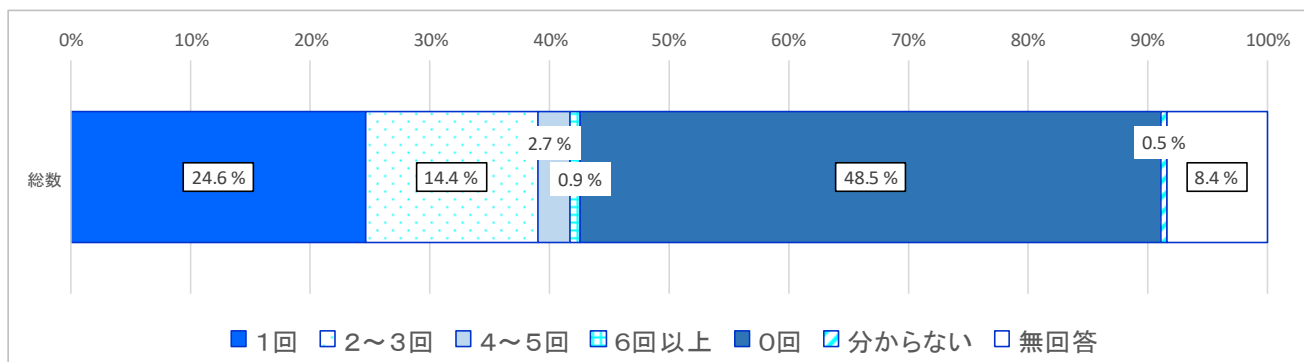
1 1回	<u>22.5%</u>	4 6回以上	<u>1.9%</u>
2 2～3回	<u>15.5%</u>	5 0回	<u>52.6%</u>
3 4～5回	<u>3.8%</u>	6 分からない	<u>0.0%</u>
		無回答	<u>3.8%</u>



Q8-3 Q8で「1～4」と答えた方にお聞きます。

そのうち、「あきた芸術劇場ミルハス」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（〇は1つ）

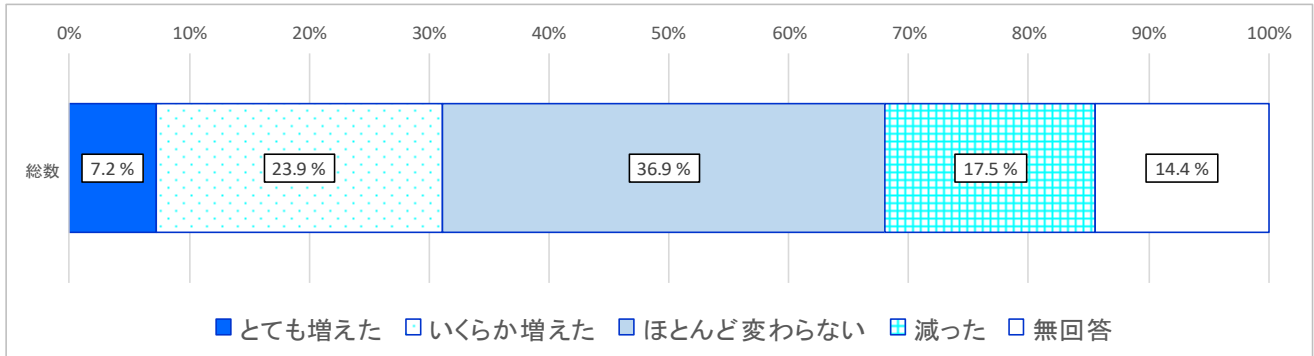
1 1回	<u>24.6%</u>	4 6回以上	<u>0.9%</u>
2 2～3回	<u>14.4%</u>	5 0回	<u>48.5%</u>
3 4～5回	<u>2.7%</u>	6 分からない	<u>0.5%</u>
		無回答	<u>8.4%</u>



Q8-4 Q8で「1～4」と答えた方にお聞きます。

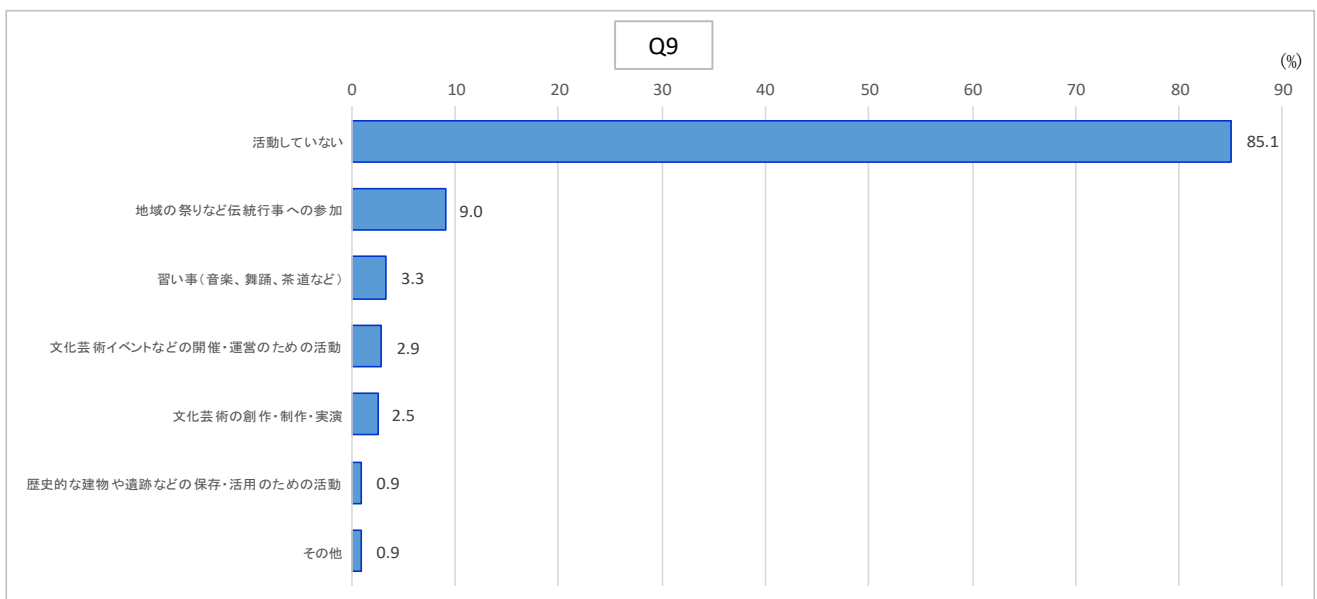
コロナ禍前（令和元年度以前）に比べて、文化芸術イベントへ行く機会が増えましたか。（○は1つ）
（※「ミレハス」以外で開催されるものを含みます。）

- | | | | |
|-----------|--------------|-------------|--------------|
| 1 とても増えた | <u>7.2%</u> | 3 ほとんど変わらない | <u>36.9%</u> |
| 2 いくらか増えた | <u>23.9%</u> | 4 減った | <u>17.5%</u> |
| | | 無回答 | <u>14.4%</u> |



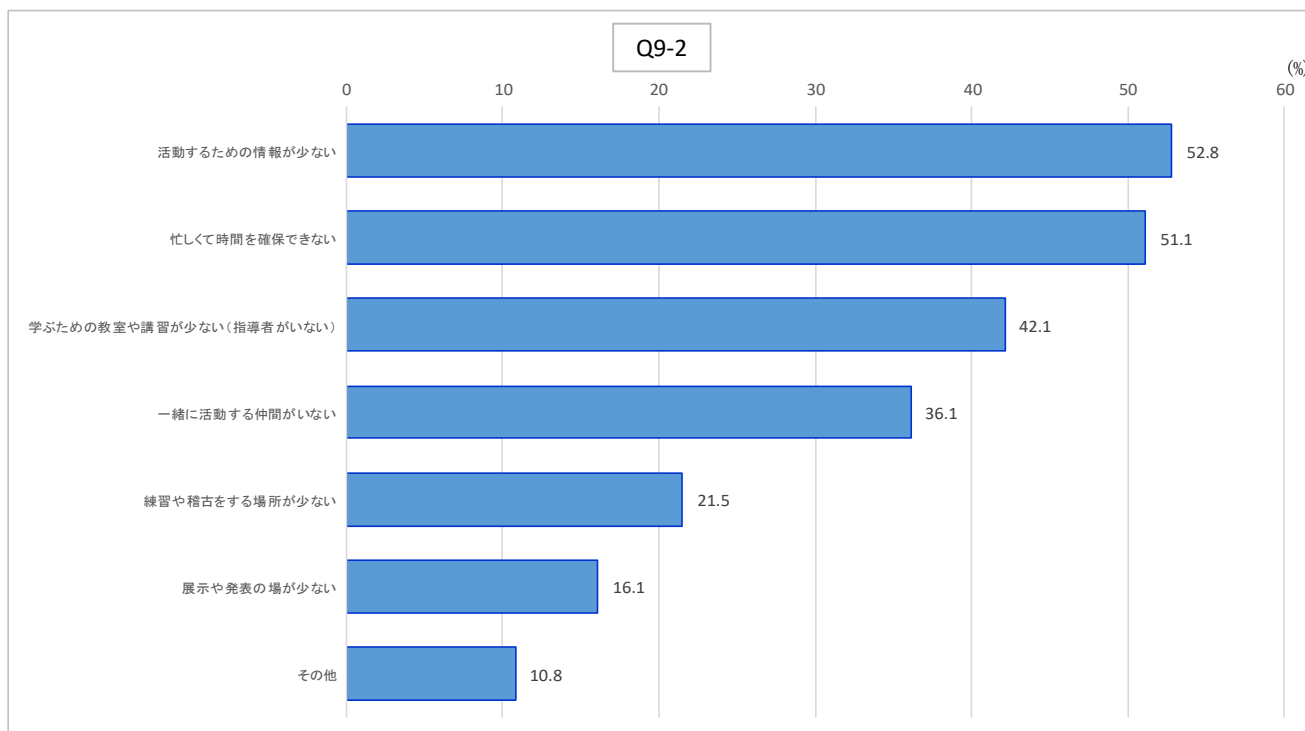
Q9 あなたは、この1年間に、県内で文化芸術作品の創作、文化芸術イベントへの出演・参加、文化芸術事業でのボランティア活動などを行いましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1 文化芸術の創作・制作・実演 | <u>2.5%</u> |
| 2 習い事（音楽、舞踊、茶道など） | <u>3.3%</u> |
| 3 地域の祭りなど伝統行事への参加 | <u>9.0%</u> |
| 4 文化芸術イベントなどの開催・運営のための活動 | <u>2.9%</u> |
| 5 歴史的な建物や遺跡などの保存・活用のための活動 | <u>0.9%</u> |
| 6 その他（ ） | <u>0.9%</u> |
| 7 活動していない | <u>85.1%</u> |
| 無回答 | <u>1.0%</u> |



Q9-2 あなたが県内で文化芸術活動をするに当たって、不便や不満を感じていることは何ですか。
 (当てはまると思う順に1位から3位まで)

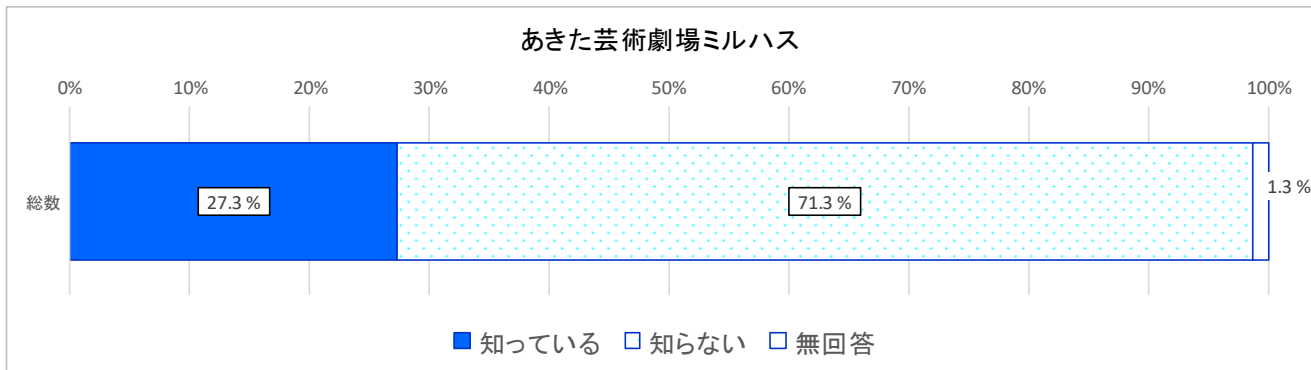
- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 練習や稽古をする場所が少ない | <u>21.5%</u> |
| 2 学ぶための教室や講習が少ない(指導者がいない) | <u>42.1%</u> |
| 3 活動するための情報が少ない | <u>52.8%</u> |
| 4 展示や発表の場が少ない | <u>16.1%</u> |
| 5 忙しくて時間を確保できない | <u>51.1%</u> |
| 6 一緒に活動する仲間がいない | <u>36.1%</u> |
| 7 その他() | <u>10.8%</u> |
| | 無回答 <u>13.8%</u> |



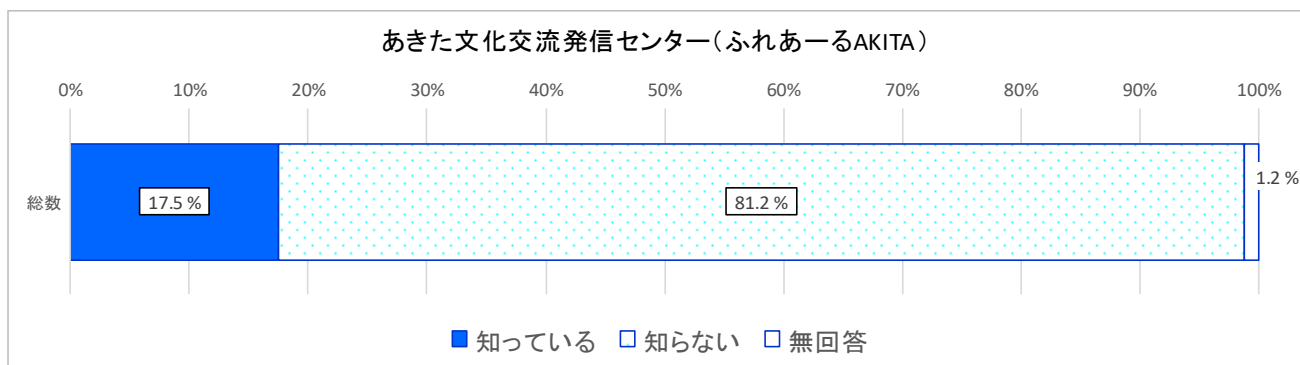
※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q9-3 あなたは、「あきた芸術劇場ミルハス」の練習室・創作室・研修室や、秋田駅前の商業施設・フォンテAKITA 6階の「あきた文化交流発信センター」(ふれあーるAKITA)の活動発表スペースを知っていますか。
(○は1つ)

あきた芸術劇場ミルハスの 練習室・創作室・研修室	1 知っている	<u>27.3%</u>
	2 知らない	<u>71.3%</u>
	無回答	<u>1.3%</u>



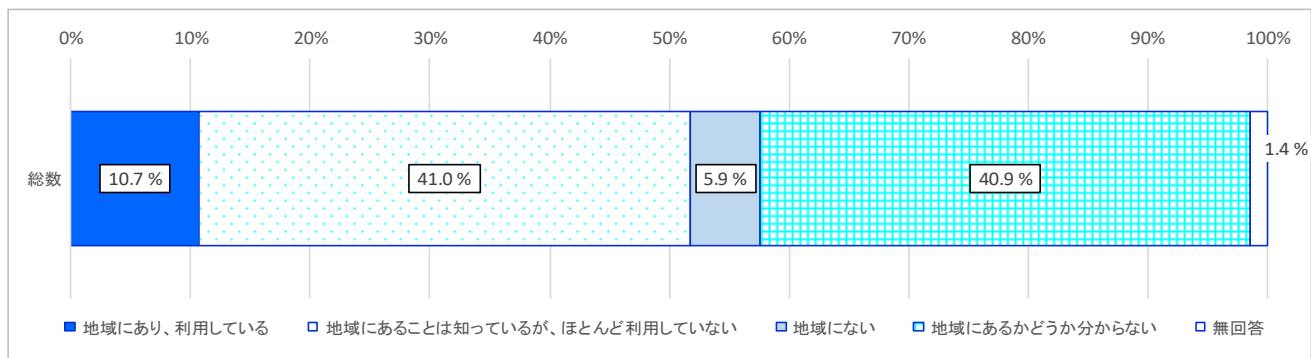
あきた文化交流発信センター (ふれあーるAKITA)	1 知っている	<u>17.5%</u>
	2 知らない	<u>81.2%</u>
	無回答	<u>1.2%</u>



4 文化芸術活動の活発化と鑑賞機会の充実について

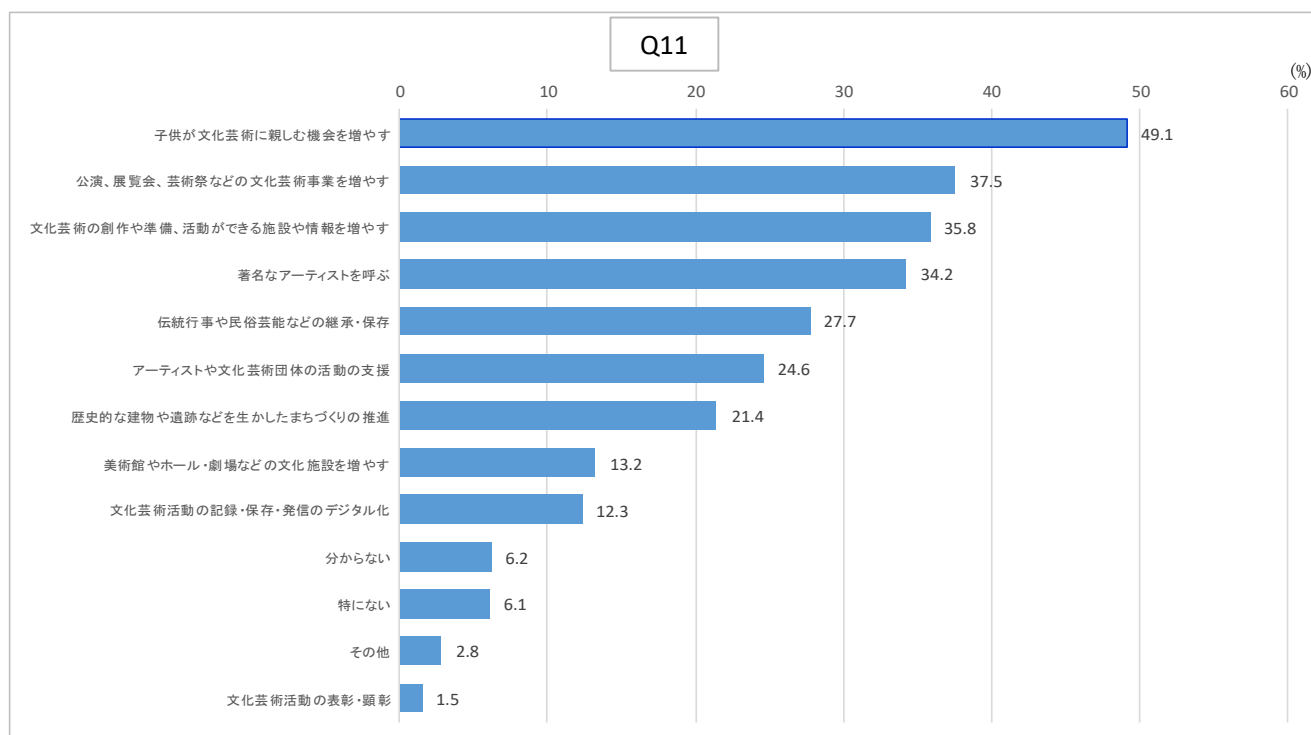
Q10 あなたがお住まいの地域に、文化芸術団体が気軽に発表し、住民が日常的に文化芸術に触れることのできる場はありますか。(○は1つ)

1 地域にあり、利用している	<u>10.7%</u>
2 地域にあることは知っているが、ほとんど利用していない	<u>41.0%</u>
3 地域にない	<u>5.9%</u>
4 地域にあるかどうか分からない	<u>40.9%</u>
無回答	<u>1.4%</u>



Q11 あなたがお住まいの地域の文化芸術に親しめる環境を充実させるためには、何が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

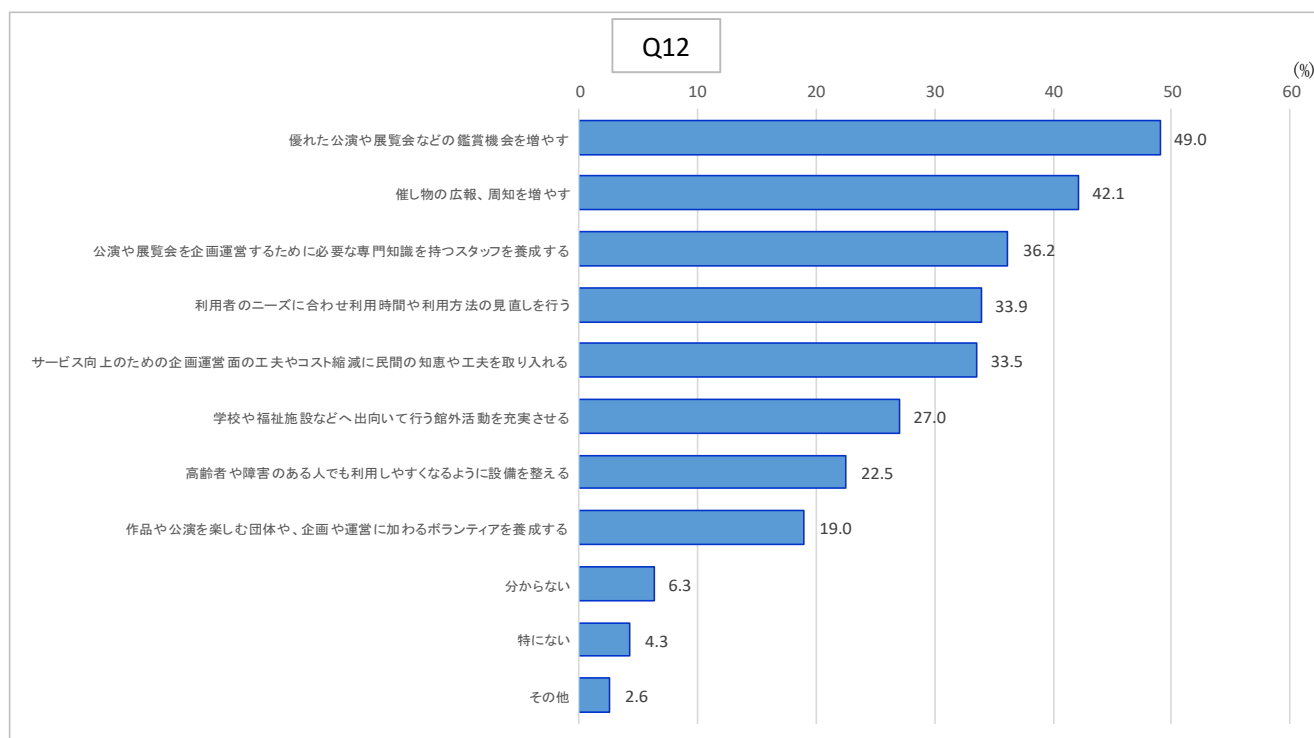
1	美術館やホール・劇場などの文化施設を増やす	13.2%
2	文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報を増やす	35.8%
3	公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業を増やす	37.5%
4	アーティストや文化芸術団体の活動の支援	24.6%
5	著名なアーティストを呼ぶ	34.2%
6	伝統行事や民俗芸能などの継承・保存	27.7%
7	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	21.4%
8	子供が文化芸術に親しむ機会を増やす	49.1%
9	文化芸術活動の表彰・顕彰	1.5%
10	文化芸術活動の記録・保存・発信のデジタル化	12.3%
11	その他（)	2.8%
12	特にない	6.1%
13	分からない	6.2%
	無回答	3.7%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q12 美術館やホール・劇場などの文化施設（私設を含む）を地域の文化芸術活動の拠点（主な活動場所）とするために、あなたは県や市町村が特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

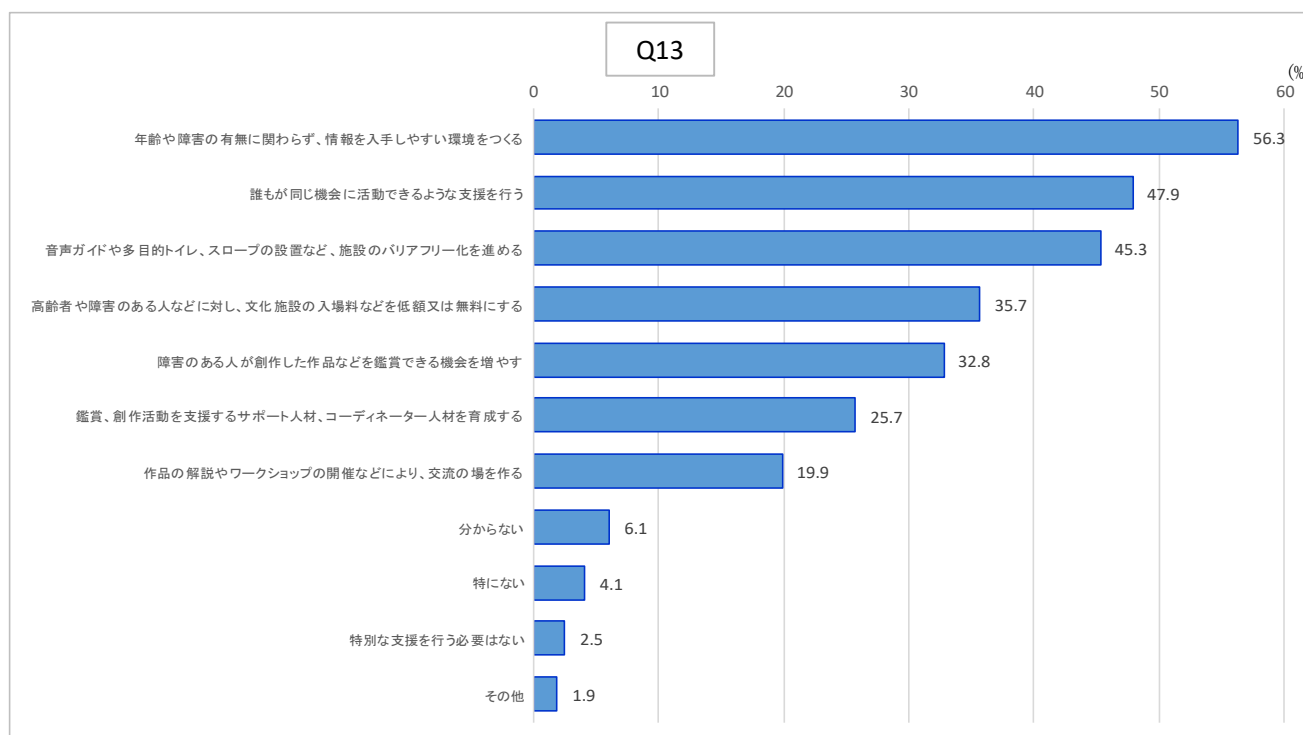
1	公演や展覧会を企画運営するために必要な専門知識を持つスタッフを養成する	36.2%
2	作品や公演を楽しむ団体や、企画や運営に加わるボランティアを養成する	19.0%
3	サービス向上のための企画運営面の工夫やコスト縮減に民間の知恵や工夫を取り入れる	33.5%
4	利用者のニーズに合わせ利用時間や利用方法の見直しを行う	33.9%
5	高齢者や障害のある人でも利用しやすくなるように設備を整える	22.5%
6	学校や福祉施設などへ出向いて行う館外活動を充実させる	27.0%
7	優れた公演や展覧会などの鑑賞機会を増やす	49.0%
8	催し物の広報、周知を増やす	42.1%
9	その他（ ）	2.6%
10	特にない	4.3%
11	分からない	6.3%
	無回答	2.7%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q13 高齢者や障害のある人など多様な人々が文化芸術活動を行い、楽しめるようにするため、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

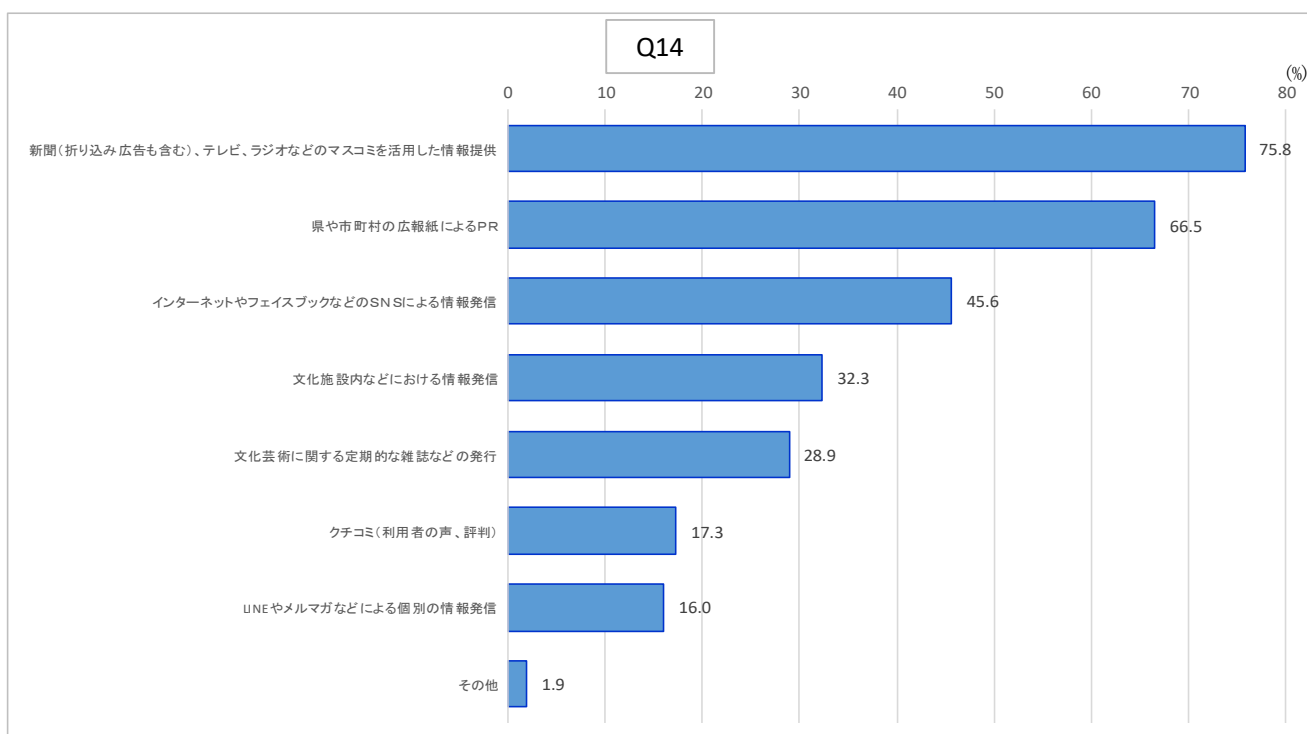
1	障害のある人が創作した作品などを鑑賞できる機会を増やす	32.8%
2	誰もが同じ機会に活動できるような支援を行う	47.9%
3	高齢者や障害のある人などに対し、文化施設の入場料などを低額又は無料にする	35.7%
4	音声ガイドや多目的トイレ、スロープの設置など、施設のバリアフリー化を進める	45.3%
5	作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を作る	19.9%
6	鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材を育成する	25.7%
7	年齢や障害の有無に関わらず、情報を入手しやすい環境をつくる	56.3%
8	その他（ ）	1.9%
9	特別な支援を行う必要はない	2.5%
10	特にない	4.1%
11	分からない	6.1%
	無回答	2.7%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q14 文化芸術に関する情報を得ることができるようにするためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

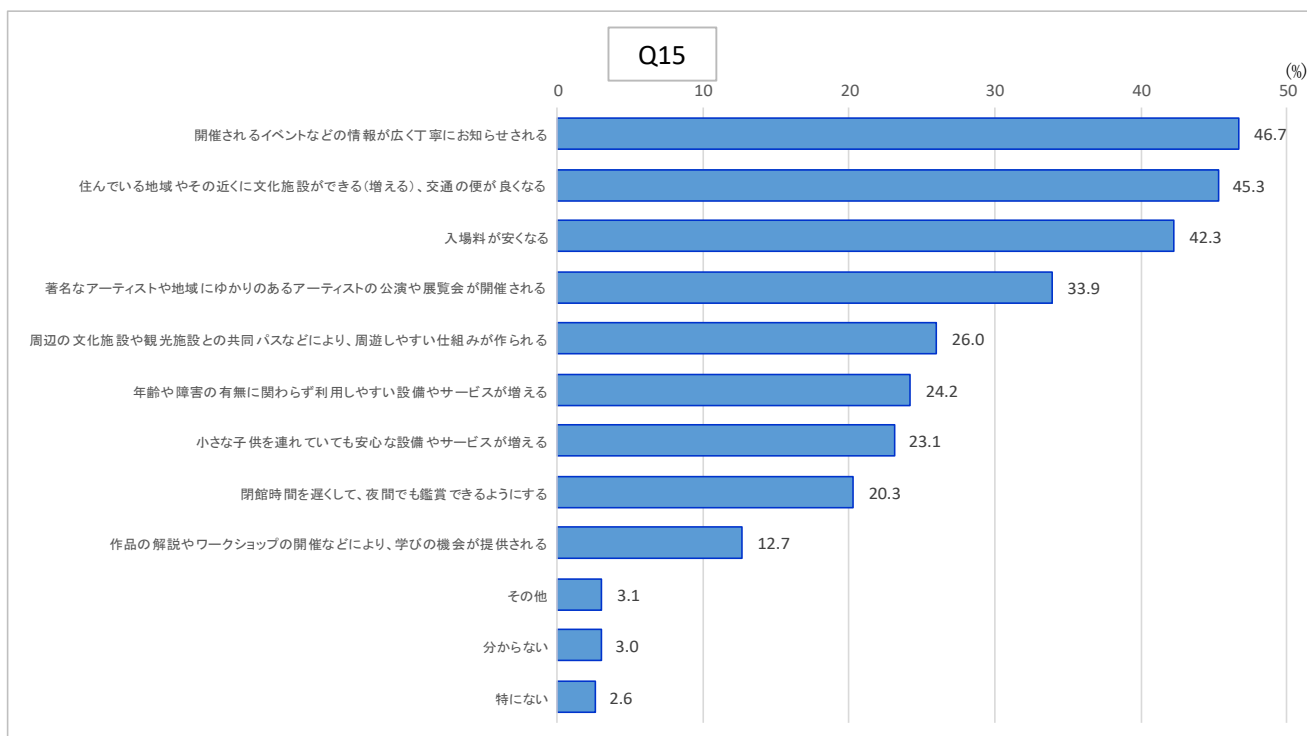
1 新聞（折り込み広告も含む）、テレビ、ラジオなどのマスコミを活用した情報提供	<u>75.8%</u>
2 県や市町村の広報紙によるPR	<u>66.5%</u>
3 文化芸術に関する定期的な雑誌などの発行	<u>28.9%</u>
4 インターネットやフェイスブックなどのSNSによる情報発信	<u>45.6%</u>
5 LINEやメルマガなどによる個別の情報発信	<u>16.0%</u>
6 クチコミ（利用者の声、評判）	<u>17.3%</u>
7 文化施設などにおける情報発信	<u>32.3%</u>
8 その他（	<u>1.9%</u>
）	<u>2.0%</u>
無回答	<u>2.0%</u>



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q 1 5 あなたは、どうすれば美術館やホール・劇場などの文化施設にもっと出かけやすくなると思いますか。（当てはまると思う順に 1 位から 3 位まで）

1	住んでいる地域やその近くに文化施設ができる（増える）、 交通の便が良くなる	45.3%
2	入場料が安くなる	42.3%
3	閉館時間を遅くして、夜間でも鑑賞できるようにする	20.3%
4	開催されるイベントなどの情報が広く丁寧にお知らせされる	46.7%
5	年齢や障害の有無に関わらず利用しやすい設備やサービスが 増える	24.2%
6	小さな子供を連れていても安心な設備やサービスが増える	23.1%
7	著名なアーティストや地域にゆかりのあるアーティストの公演や 展覧会が開催される	33.9%
8	作品の解説やワークショップの開催などにより、学びの機会が 提供される	12.7%
9	周辺の文化施設や観光施設との共同パスなどにより、周遊 しやすい仕組みが作られる	26.0%
1 0	その他（ ）	3.1%
1 1	特にない	2.6%
1 2	分からない	3.0%
	無回答	2.2%

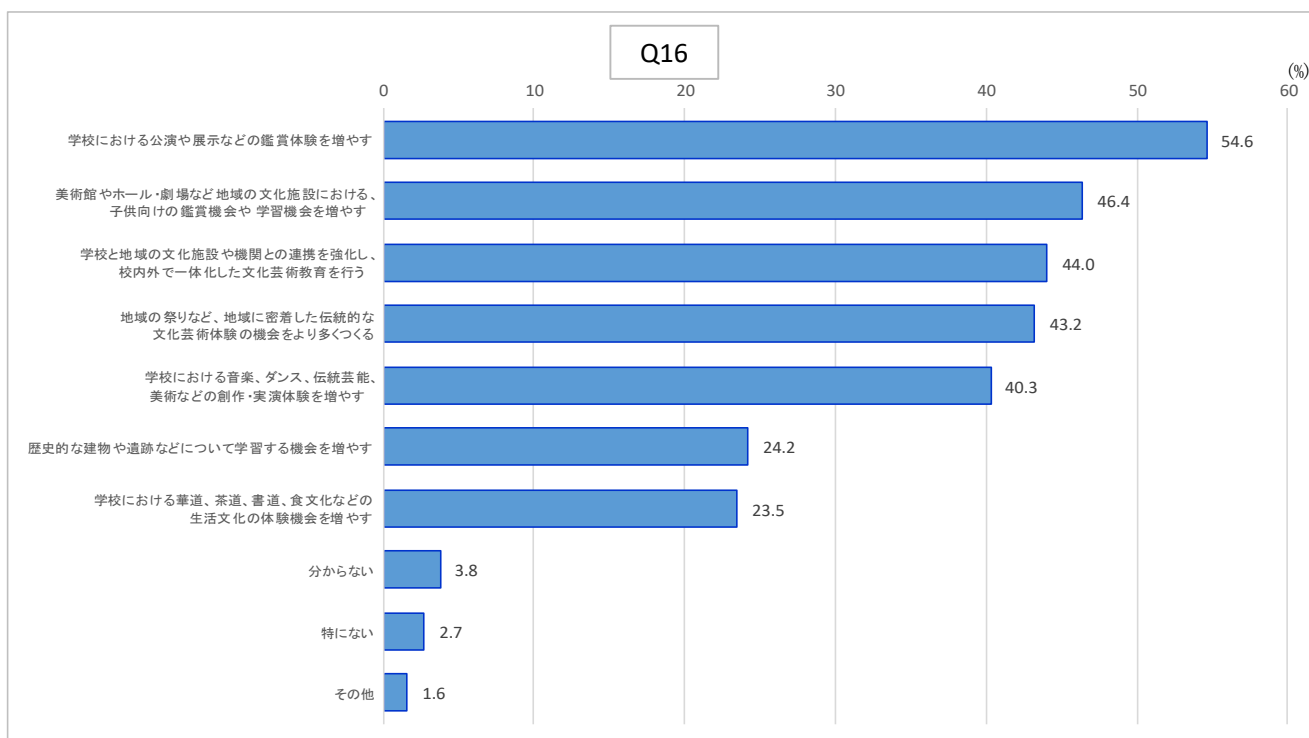


※有効回答数970に占める 1 位から3位のいずれかに選択された割合

5 次代を担う後継者や若手アーティストの育成と活動支援

Q16 あなたは、子供が文化芸術を体験する場合、どのような取組が必要だと思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

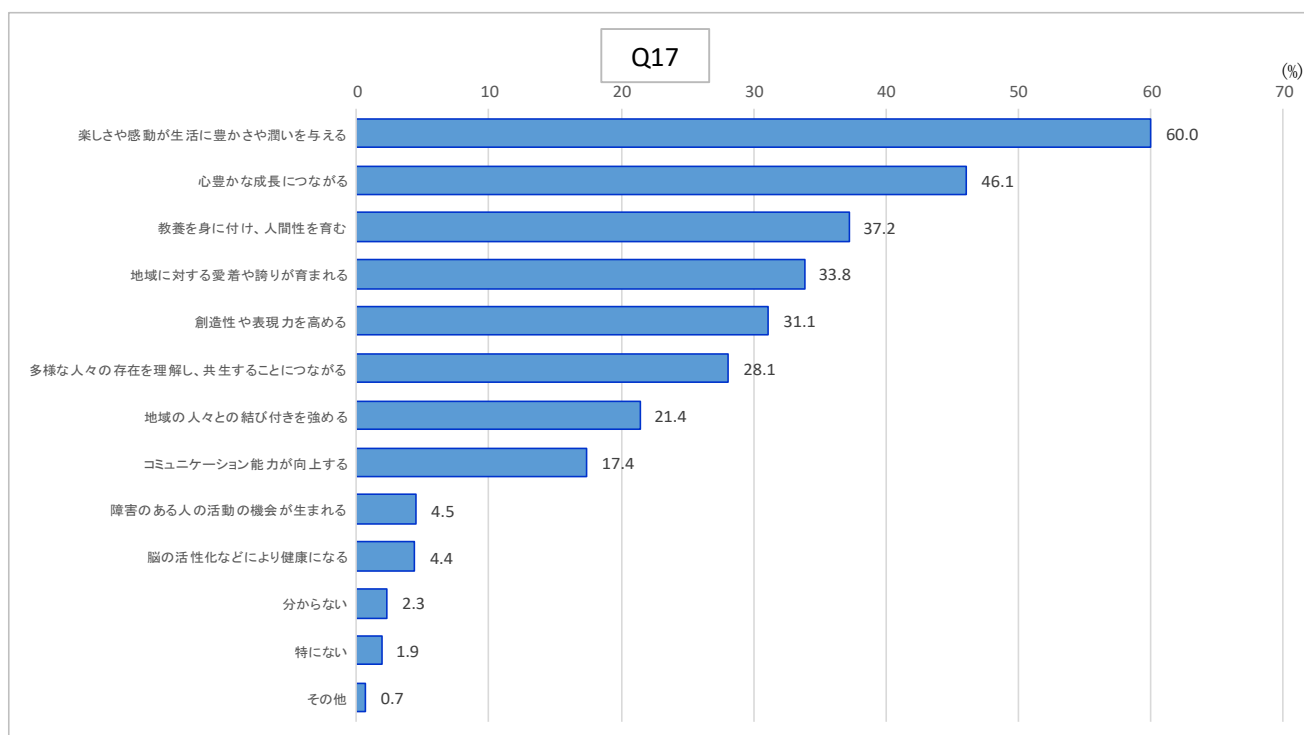
1	学校における公演や展示などの鑑賞体験を増やす	54.6%
2	学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を増やす	40.3%
3	学校における華道、茶道、書道、食文化などの生活文化の体験機会を増やす	23.5%
4	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を増やす	24.2%
5	学校と地域の文化施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う	44.0%
6	美術館やホール・劇場など地域の文化施設における、子供向けの鑑賞機会や学習機会を増やす	46.4%
7	地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化芸術体験の機会をより多くつくる	43.2%
8	その他 ()	1.6%
9	特にない	2.7%
10	分からない	3.8%
	無回答	2.1%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q17 子供の文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

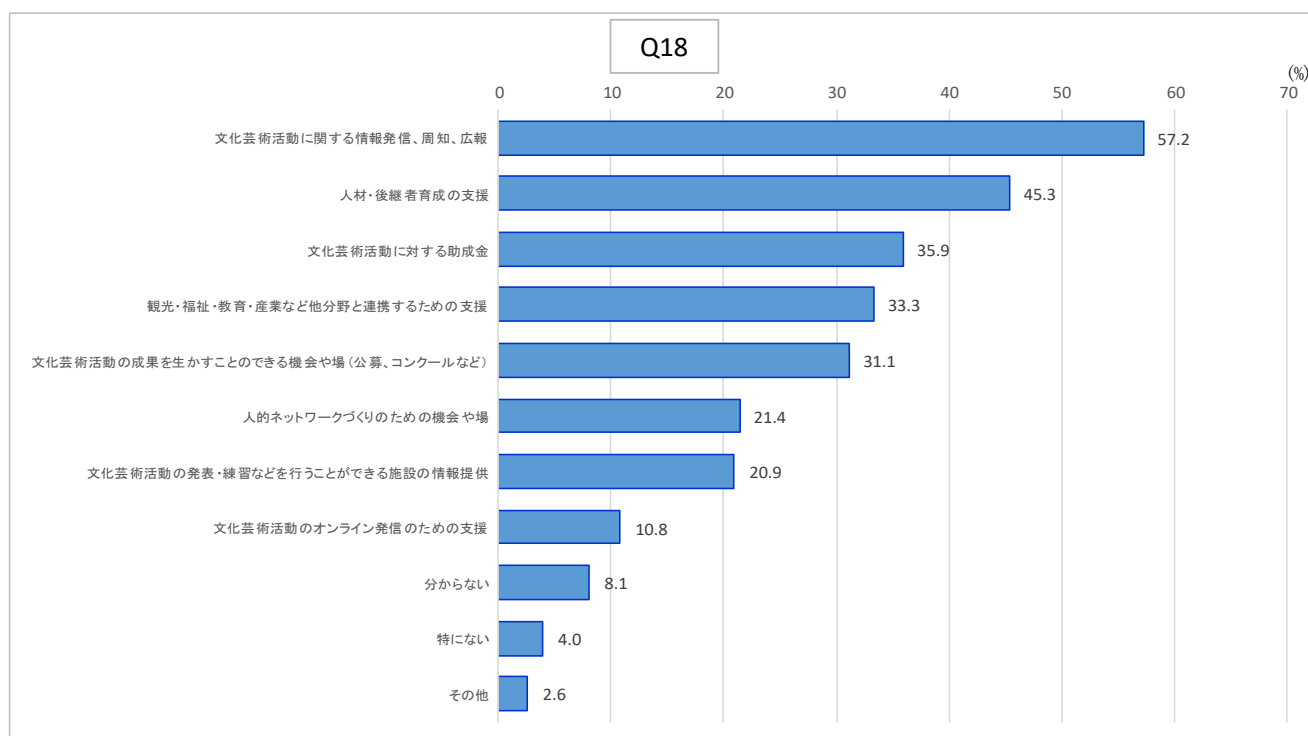
1	楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える	60.0%
2	教養が身につく、人間性が育まれる	37.2%
3	地域に対する愛着や誇りが育まれる	33.8%
4	地域における人々との結び付きを強める	21.4%
5	心豊かな成長につながる	46.1%
6	コミュニケーション能力が向上する	17.4%
7	障害のある人の活動の機会が生まれる	4.5%
8	脳の活性化などにより健康になる	4.4%
9	創造性や表現力を高める	31.1%
10	多様な人々の存在を理解し、共生することにつながる	28.1%
11	その他 ()	0.7%
12	特にない	1.9%
13	分からない	2.3%
	無回答	1.8%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q18 あなたは、文化芸術活動をしていく上で、何が不足していると思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

1	文化芸術活動に対する助成金	35.9%
2	文化芸術活動に関する情報発信、周知、広報	57.2%
3	文化芸術活動の成果を生かすことのできる機会や場 (公募、コンクールなど)	31.1%
4	文化芸術活動のオンライン発信のための支援	10.8%
5	人的ネットワークづくりのための機会や場	21.4%
6	人材・後継者育成の支援	45.3%
7	文化芸術活動の発表・練習などを行うことができる施設の 情報提供	20.9%
8	観光・福祉・教育・産業などの他分野と連携するための支援	33.3%
9	その他 ()	2.6%
10	特にない	4.0%
11	分からない	8.1%
	無回答	2.7%

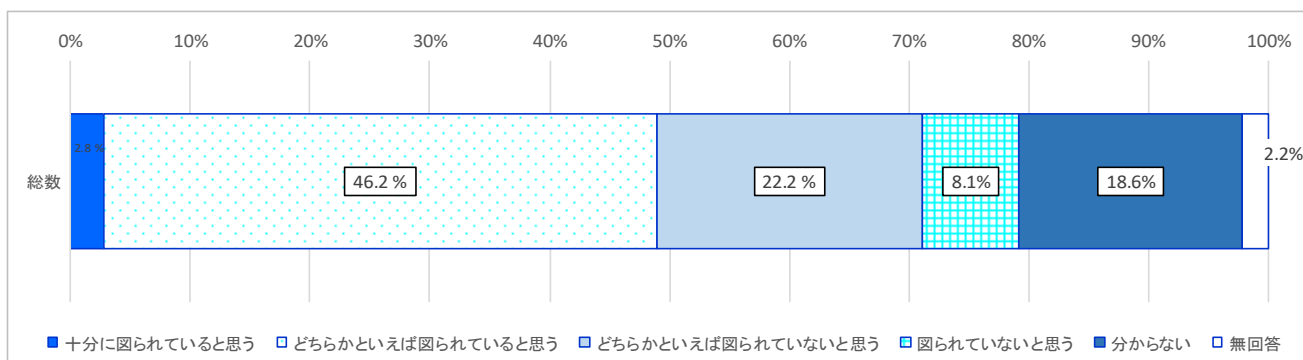


※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

6 文化芸術の継承と発展、創造について

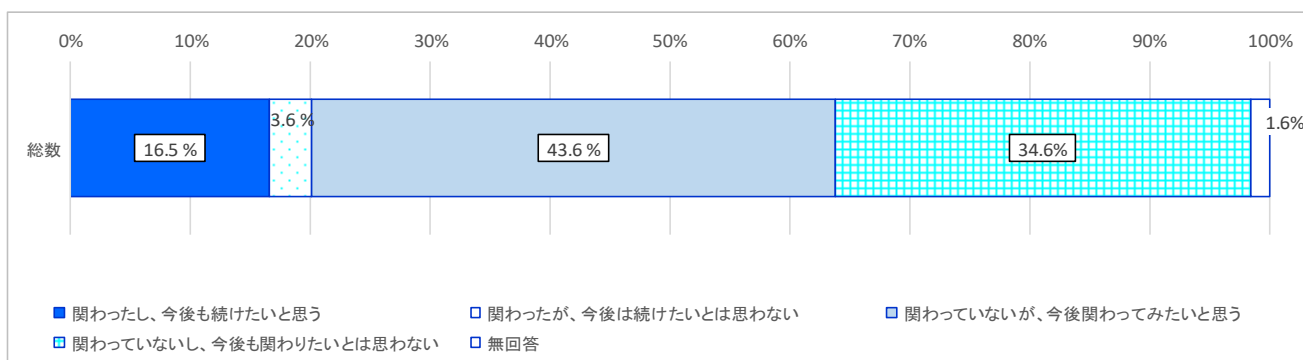
Q19 あなたは、県特有の地域の伝統行事や民俗芸能の継承が図られていると思いますか。
(○は1つ)

- 1 十分に図られていると思う 2.8%
 - 2 どちらかといえば図られていると思う 46.2%
 - 3 どちらかといえば図られていないと思う 22.2%
 - 4 図られていないと思う 8.1%
 - 5 分からない 18.6%
- 無回答 2.2%



Q20 あなたは、この5年間（コロナ禍の時期を除く。）に、お住まいの地域の伝統行事や民俗芸能の伝承活動に関わりましたか。（※出演、運営、ボランティアなど、関わり方は問いません。）
(○は1つ)

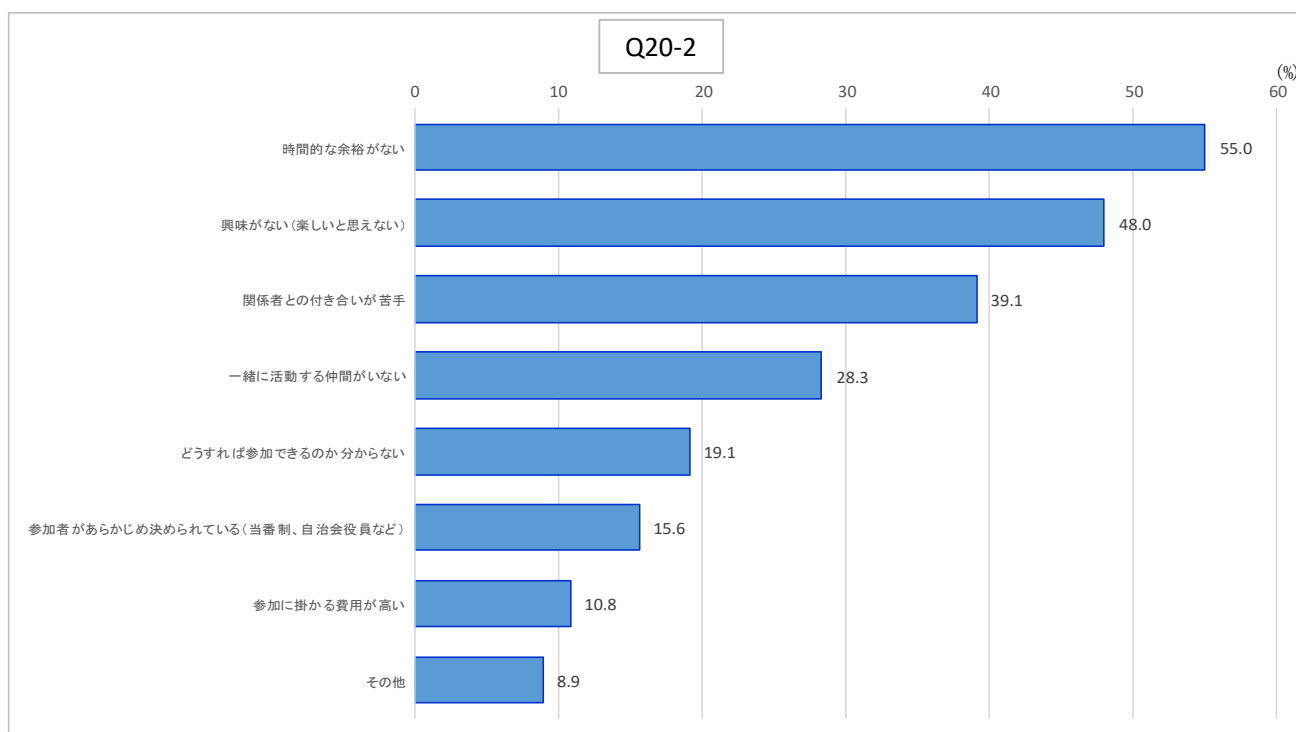
- 1 関わったし、今後も続けたいと思う 16.5%
 - 2 関わったが、今後は続けたいとは思わない 3.6%
 - 3 関わっていないが、今後関わってみたいと思う 43.6%
 - 4 関わっていないし、今後も関わりたいとは思わない 34.6%
- 無回答 1.6%



Q20-2 Q20で、「2 関わったが、今後は続けたいとは思わない」又は「4 関わっていないし、今後も関わりたいとは思わない」と答えた方にお聞きします。

あなたがそのように考える理由は何ですか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1 時間的な余裕がない | <u>55.0%</u> |
| 2 どうすれば参加できるのか分からない | <u>19.1%</u> |
| 3 一緒に活動する仲間がいない | <u>28.3%</u> |
| 4 参加者があらかじめ決められている（当番制、自治会役員など） | <u>15.6%</u> |
| 5 関係者との付き合いが苦手 | <u>39.1%</u> |
| 6 参加に掛かる費用が高い | <u>10.8%</u> |
| 7 興味がない（楽しいと思えない） | <u>48.0%</u> |
| 8 その他（ | <u>8.9%</u> |
| ） | |
| 無回答 | <u>13.7%</u> |

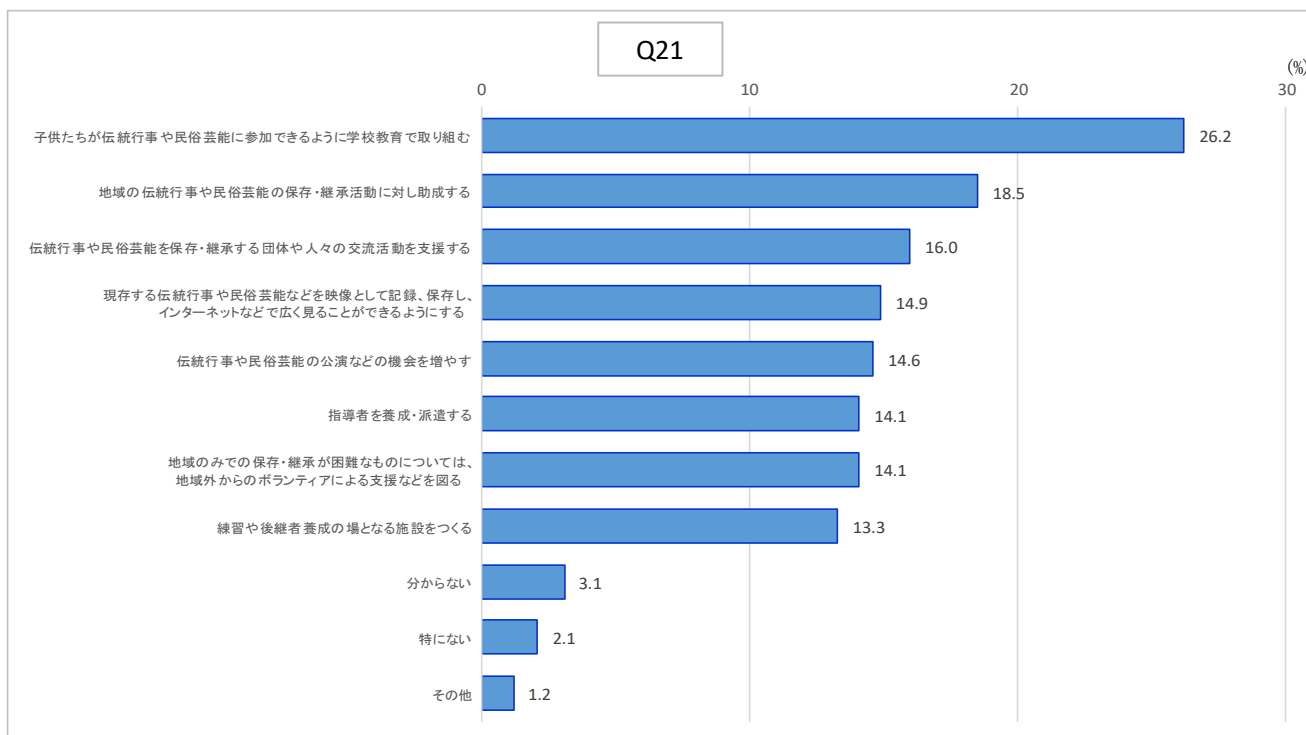


※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q 2 1 文化芸術活動に関わっている方にお聞きます。

あなたは、地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承に関して、今後県や市町村は特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

1 指導者を養成・派遣する	<u>14.1%</u>
2 練習や後継者養成の場となる施設をつくる	<u>13.3%</u>
3 子供たちが伝統行事や民俗芸能に参加できるように学校教育で取り組む	<u>26.2%</u>
4 地域のみでの保存・継承が困難なものについては、地域外からのボランティアによる支援などを図る	<u>14.1%</u>
5 伝統行事や民俗芸能の公演などの機会を増やす	<u>14.6%</u>
6 伝統行事や民俗芸能を保存・継承する団体や人々の交流活動を支援する	<u>16.0%</u>
7 現存する伝統行事や民俗芸能などを映像として記録、保存し、インターネットなどで広く見ることができるようにする	<u>14.9%</u>
8 地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する	<u>18.5%</u>
9 その他（ ）	<u>1.2%</u>
10 特にない	<u>2.1%</u>
11 分からない	<u>3.1%</u>
無回答	<u>50.7%</u>



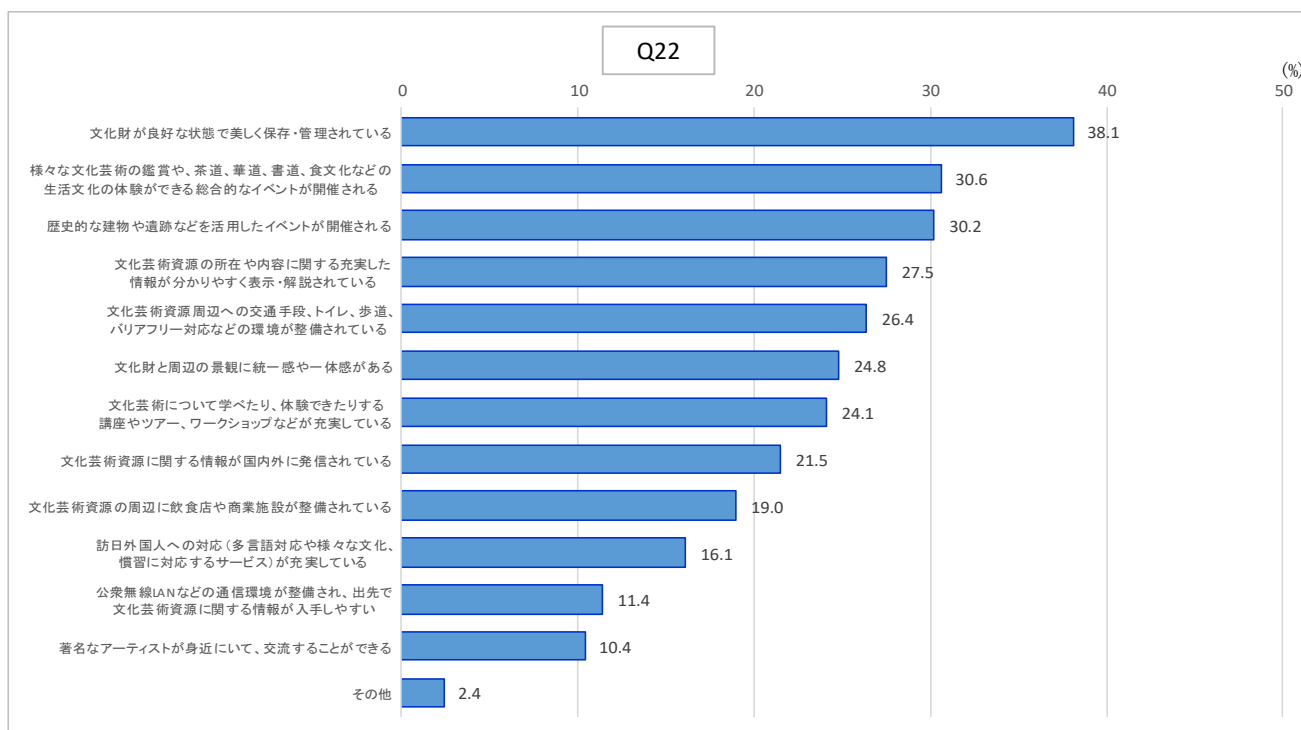
※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

7 地域の文化芸術資源を生かした交流人口・関係人口の拡大について

Q2 2 あなたは、文化芸術資源を活用して観光客を増やしたり、それによって地域が活性化したり、県外や海外から注目されたりするようになるためには、どのようなことが重要だと思いますか。

(当てはまると思う順に1位から3位まで)

1	文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	38.1%
2	歴史的な建物や遺跡などを活用したイベントが開催される	30.2%
3	文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある	24.8%
4	様々な文化芸術の鑑賞や、茶道、華道、書道、食文化などの生活文化の体験ができる総合的なイベントが開催される	30.6%
5	文化芸術資源の所在や内容に関する充実した情報が分かりやすく表示・解説されている	27.5%
6	文化芸術について学べたり、体験できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している	24.1%
7	公衆無線LANなどの通信環境が整備され、出先で文化芸術資源に関する情報が入手しやすい	11.4%
8	訪日外国人への対応（多言語対応や様々な文化、慣習に対応するサービス）が充実している	16.1%
9	文化芸術資源周辺への交通手段、トイレ、歩道、バリアフリー対応などの環境が整備されている	26.4%
10	文化芸術資源の周辺に飲食店や商業施設が整備されている	19.0%
11	著名なアーティストが身近にいて、交流することができる	10.4%
12	文化芸術資源に関する情報が国内外に発信されている	21.5%
13	その他（	2.4%
	無回答	3.2%



※有効回答数970に占める1位から3位のいずれかに選択された割合

Q23 県の文化芸術施策の推進に関する事で、ご意見がありましたらお聞かせください。

181人（18.7%）から自由意見が寄せられました。
調査結果の概略をご参照ください。

調査結果の概略

1 あなたの文化芸術に対する意識について

Q 1 あなたは、県が策定している文化芸術施策の推進に関する計画「あきた文化振興ビジョン」を知っていますか。

「知らない」が67.0%と最も多い。「知っている」と「知っているが詳しい内容は知らない」を合わせると32.2%で、「知らない」の約半数となっている。

Q 1-2 あなたは、文化芸術をつくり楽しむことが、人の生まれながらの権利であることを知っていますか。

「知らない」が55.9%と最も多い。「知っている」と「知っているが詳しい内容は知らない」を合わせると43.4%となっている。

Q 2 あなたは、日常生活の中で、文化芸術を鑑賞したり、自ら文化芸術活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。

「ある程度大切だ」が60.2%と最も多く、次いで「非常に大切だ」、「分からない」の順に続いている。「非常に大切だ」と「ある程度大切だ」を合わせると85.1%となっている。

Q 3 あなたは、文化芸術が果たす役割についてどのように考えますか。

「楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える」が72.0%と最も多く、次いで「教養を深め、人間性を育む」、「子供の心豊かな成長につながる」の順に続いている。

Q 4 あなたは、どのようなことがあれば、人々が文化芸術にもっと関心を持つようになると思いますか。

「自宅や職場の近くでたくさん催し物が行われるようになる」が52.9%で最も多く、次いで「無料で見られるコンサートや展覧会などが増える」、「今より経済的な余裕ができる」の順に続いている。

Q 4-2 あなたが秋田県に住み続ける上で、文化芸術活動に関してどのようなことが重要だと思いますか。

「子供たちが学校や地域で文化芸術に日常的に触れることができること」が71.2%と最も多く、次いで「経済的状况に関わらず、人々が地域で文化芸術に日常的に触れることができること」、「伝統行事や民俗芸能など地域の伝統文化があること」の順に続いている。

2 秋田県の文化芸術施策の推進について

Q5 あなたは、次の施策のうち、どれを重視すべきと考えますか。

「県民が文化芸術に親しむ機会を増やす」が52.2%と最も多く、次いで「学校における文化芸術活動・体験を増やす」、「多様な人々の文化芸術活動への参加機会づくりと活動の活性化」の順に続いている。

Q6 あなたは、特にどのような分野の施策を進めてほしいと思いますか。

「音楽（クラシック、ポップス、歌謡曲、民謡など）」が54.3%と最も多く、次いで「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など）、写真」、「歴史的な建物や遺跡（建造物、景観、文化財）」の順に続いている。

3 文化芸術との関わりについて

Q7 あなたがこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）に出向いて直接鑑賞した文化芸術イベントはありますか。

「音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡、民謡など）」が40.3%と最も多く、次いで「映画（映画館で上映されたもの）」、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など）、写真」の順に続いている。「鑑賞していない」は33.3%となっている。

Q7-2 文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。（Q7で「10 鑑賞していない」と答えた方）

「時間的な余裕がない」が50.8%と最も多く、次いで「興味のある催し物が少ない」、「情報量が少ない」の順に続いている。

Q8 あなたはこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）で開催された文化芸術イベントに何回行きましたか。

「0回」が36.7%と最も多く、次いで「2～3回」、「1回」の順に続いている。

Q8-2 そのうち、「県外」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（Q8で「1～4」と答えた方）

「0回」が52.6%と最も多く、次いで「1回」、「2～3回」の順に続いている。

Q8-3 そのうち、「あきた芸術劇場ミルハス」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（Q8で「1～4」と答えた方）

「0回」が48.5%と最も多く、次いで「1回」、「2～3回」の順に続いている。

Q 8-4 コロナ禍前（令和元年度以前）に比べて、文化芸術イベントに行く機会が増えましたか。（Q 8で「1～4」と答えた方）

「ほとんど変わらない」が36.9%と最も多く、次いで「いづらか増えた」、「減った」の順が続いている。「とても増えた」と「いづらか増えた」を合わせると31.1%となっている。

Q 9 あなたは、この1年間に、県内で文化芸術作品の創作、文化芸術イベントへの出演・参加、文化芸術事業でのボランティア活動などを行いましたか。

「活動していない」が85.1%と最も多い。活動したものでは「地域の祭りなど伝統行事への参加」、「習い事（音楽、舞踊、茶道など）」、「文化芸術イベントなどの開催・運営のための活動」の順となっている。

Q 9-2 あなたが県内で文化芸術活動をするに当たって、不便や不満を感じていることは何ですか。

「活動するための情報が少ない」が52.8%と最も多く、次いで「忙しくて時間を確保できない」、「学ぶための教室や講習が少ない（指導者がいない）」の順が続いている。

Q 9-3 あなたは、「あきた芸術劇場ミルハス」の練習室・創作室・研修室や、秋田駅前の商業施設・フォンテ AKITA 6階の「あきた文化交流発信センター」（ふれあーる AKITA）の活動発表スペースを知っていますか。

あきた芸術劇場ミルハスは、「知らない」が71.3%、「知っている」が27.3%となっている。あきた文化交流発信センター（ふれあーるAKITA）は、「知らない」が81.2%、「知っている」が17.5%となっている。

4 文化芸術活動の活性化と鑑賞機会の充実について

Q 10 あなたがお住まいの地域に、文化芸術団体が気軽に発表し、住民が日常的に文化芸術に触れることのできる場はありますか。

「地域にあることは知っているが、ほとんど利用しない」と「地域にあるかどうか分からない」がほぼ同じ割合で多くなっている。「地域にあり、利用している」は10.7%となっている。

Q 11 あなたがお住まいの地域の文化芸術に親しめる環境を充実させるためには、何が必要だと思いますか。

「子供が文化芸術に親しむ機会を増やす」が49.1%と最も多く、次いで「公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業を増やす」、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報を増やす」の順が続いている。

Q 1 2 美術館やホール・劇場などの文化施設（私設を含む）を地域の文化芸術活動の拠点（主な活動場所）とするために、あなたは県や市町村が特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。

「優れた公演や展覧会などの鑑賞機会を増やす」が49.0%と最も多く、次いで「催し物の広報、周知を増やす」、「公演や展覧会を企画運営するために必要な専門知識を持つスタッフを養成する」の順に続いている。

Q 1 3 高齢者や障害のある人など多様な人々が文化芸術活動を行い、楽しめるようになるため、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。

「年齢や障害の有無に関わらず、情報を入手しやすい環境をつくる」が56.3%と最も多く、次いで「誰もが同じ機会に活動できるような支援を行う」、「音声ガイドや多目的トイレ、スロープの設置など、施設のバリアフリー化を進める」の順に続いている。

Q 1 4 文化芸術に関する情報を得ることができるようにするためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。

「新聞（折り込み広告も含む）、テレビ、ラジオなどのマスコミを活用した情報提供」が75.8%と最も多く、次いで「県や市町村の広報紙によるPR」、「インターネットやフェイスブックなどのSNSによる情報発信」の順に続いている。

5 次代を担う後継者や若手アーティストの育成と活動支援について

Q 1 5 あなたは、どうすれば美術館やホール・劇場などの文化施設にもっと出かけやすくなると思いますか。

「開催されるイベントなどの情報が広く丁寧にお知らせされる」が46.7%と最も多く、次いで「住んでいる地域やその近くに文化施設ができる（増える）、交通の便がよくなる」、「入場料が安くなる」の順に続いている。

Q 1 6 あなたは、子供が文化芸術を体験する場合、どのような取組が必要だと思いますか。

「学校における公演や展示などの鑑賞体験を増やす」が54.6%と最も多く、次いで美術館やホール・劇場など地域の文化施設における、子供向けの鑑賞機会や学習機会を増やす」、「学校と地域の文化施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う」の順に続いている。

Q 1 7 子供の文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。

「楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える」が60.0%と最も多く、次いで「心豊かな成長につながる」、「教養を身につけ、人間性を育む」の順に続いている。

Q18 あなたは、文化芸術活動をしていく上で、何が不足していると思いますか。

「文化芸術活動に関する情報発信、周知、広報」が57.2%と最も多く、次いで「人材・後継者育成の支援」、「文化芸術活動に対する助成金」の順が続いている。

6 文化芸術の継承と発展、創造について

Q19 あなたは、県特有の地域の伝統行事や民俗芸能の継承が図られていると思いますか。

「どちらかといえば図られていると思う」が46.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば図られていないと思う」、「分からない」の順が続いている。「十分に図られていると思う」と「どちらかといえば図られていると思う」を合わせると49.0%となっている。

Q20 あなたは、この5年間（コロナ禍の時期を除く。）に、お住まいの地域の伝統行事や民俗芸能の伝承活動に関わりましたか。（※出演、運営、ボランティアなど、関わり方は問いません。）

「関わっていないが、今後関わってみたいと思う」が43.6%と最も多く、次いで「関わっていないし、今後も関わりたと思わない」、「関わったし、今後も続けたいと思う」の順が続いている。「関わったし、今後も続けたいと思う」と「関わっていないが、今後関わってみたいと思う」を合わせると60.1%となっている。

Q20-2 あなたがそのように考える理由は何ですか。（Q20で、「2 関わったが、今後は続けたいとは思わない」又は「4 関わっていないし、今後も関わりたと思わない」と答えた方）

「時間的な余裕がない」が55.0%と最も多く、次いで「興味がない（楽しいと思えない）」、「関係者との付き合いが苦手」の順が続いている。

Q21 文化芸術活動に関わっている方にお聞きします。あなたは、地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承に関して、今後県や市町村は特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。

「子供たちが伝統行事や民俗芸能に参加できるように学校教育で取り組む」が26.2%と最も多く、次いで「地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する」、「伝統行事や民俗芸能を保存・継承する団体や人々の交流活動を支援する」の順が続いている。

7 地域の文化芸術資源を生かした交流人口・関係人口の拡大について

Q22 あなたは、文化芸術資源を活用して観光客を増やしたり、それによって地域が活性化したり、県外や海外から注目されたりするようになるためには、どのようなことが重要だと思いますか。

「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」が38.1%と最も多く、次いで「様々な文化芸術の鑑賞や、茶道、華道、書道、食文化などの生活文化の体験ができる総合的なイベントが開催される」、「歴史的な建物や遺跡などを活用したイベントが開催される」の順が続いている。

8 その他

Q23 県の文化芸術施策の推進に関することで、ご意見がありましたらお聞かせください。

自由意見の項目別件数

回答は内容からAからMの13項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合は、主な意見で分類している。

項番	項目	件数
A	情報発信に関すること	23
B	施設に関すること	19
C	イベントに関すること	19
D	継承に関すること	15
E	子どもたちに関すること	14
F	交通に関すること	13
G	活動に関すること	12
H	文化芸術への関心に関すること	9
I	人口・人材に関すること	8
J	地域に関すること	7
K	文化財に関すること	6
L	経済に関すること	3
M	その他	33
	合計	181

主な自由意見

有効回答数970件のうち181件の自由意見があった。一部を抜粋して掲載する。誤字等は校正しているため、掲載文は回答原文とは異なる場合がある。

A 情報発信に関すること

○秋田県は民俗芸能の宝庫である事を国内外にもっとアピールするべきだと思う。国重文17団体の自治体で持ち回りでイベントを行なったらどうか。(男性・70歳～79歳・鹿角)

○他県から30年前に秋田に来ました。秋田はとてもすばらしい文化や芸術、まつりがあることにとってもおどろきました。しかし秋田県はそのすばらしい文化等を他県や外国にアピールするのがあまりじょうずではないように感じます。秋田県の文化等、もっともっとアピールしても良いのではと思います。(女性・50歳～59歳・由利)

○秋田の伝統的な良さを前面に押し出してそれを守り育てている事が分かる様に宣伝する事が重要と思います。(男性・70歳～79歳・北秋田)

○県外の友達がイベント情報を元によく遊びに来ています。秋田の文化芸術を県外から友達へ、友達が他の友達へと、楽しみにしているので、もっともっと県外に情報が届けば良いと思います。(女性・50歳～59歳・平鹿)

○秋田はとっても魅力的な県なのに、宣伝が下手だと思います。もっと県外の方にお金を落としてもらう様に頑張りたい。(女性・40歳～49歳・秋田市)

B 施設に関すること

○ミルハスでのライブなどへ行く事も多くなっていますが県内外からのお客様も多いのもっと多くの県内観光地、伝統芸能、おみやげ等知っていただくようにミルハスでの展示に力を入れてもよいと思う。(女性・60歳～69歳・秋田市)

○秋田市にミルハスが出来た事でいろいろな芸術にすばらしい環境の中で接する機会に触れる事ができた事が大変良かった事と同時にもっとそれに触れる事の(体力的、能力的)難しい市民への掘り起して育成を図って欲しい。(男性・70歳～79歳・秋田市)

○ミルハスは首都圏のホールに負けないとても良いホールだと思います。今後もミュージカルや演劇を秋田にいても楽しめるよう公演機会が増えることを期待しています。(女性・40歳～49歳・仙北)

○秋田にゆかりのある作家や秋田で活動する作家の作品をいつでも気軽に観たり買ったりすることができるギャラリーを増やしてほしい。(男性・20歳～29歳・秋田市)

C イベントに関すること

○文化芸術は観るだけでは無く参加して体験出来るイベントを増やすべきだと思います。
(男性・30歳～39歳・秋田市)

○著名なアーティストを身近に感じれるような機会を多く増やしてほしいです。秋田は今話題のアーティストが来る機会が少ないと思います。(女性・20歳～29歳・秋田市)

○秋田県内の文化芸術が一堂に集めた催しを行い、タイムリーでなかなか時間が無く見に行けない芸能や行事を一施設で見られる機会を設ける。(県北の人が県南の行事、芸能を見に行きたくても遠方過ぎたり、時間が無く足を運べない人の為に中央で開催するなど)
(男性・50歳～59歳・山本)

○美術館の企画展示、もっと魅力的な展示を誘致して欲しい。(女性・50歳～59歳・秋田市)

D 継承に関すること

○人口減少が続く中、地域の伝統行事や民俗芸能を維持していくのは大変な事だと感じています。芸術体験等は感情豊かに、表現力を育ててくれると思うので、子供達にはどんどん接して欲しいです。民俗芸能は長老達との触れ合いが密なので大切ですね。(女性・70歳～79歳・由利)

○どの地域でも民俗芸能の継承に危機感を持っています。少子化や趣味の多様化により、古き物は関心を持ってもらえず…。学校等で一貫した民俗芸能や伝統行事、文化財等を学ぶ機会を作っていかなければ、後継者は生まれてこないと考える。(女性・50歳～59歳・雄勝)

○文化芸術分野は地域が存続していくために必要なことだと思います。大きなお金をかけることなく、民間と連携して稼ぐ仕組みをつくりつつ、届けたい方に届くような丁寧な発信を心掛け、持続していける仕組みづくりとその継続に取り組んでいただきたいです。(男性・40歳～49歳・山本)

○県人口減少の中小さな集落の小さな文化は人知れず無くなって行くことへの危機感はどうも少し持っていたきたいと思いました。(男性・50歳～59歳・仙北)

E 子どもたちに関すること

○子育てしていて、小さい事ですが文化祭（中高生）の時の子供の才能を生せる事も出き、それが大人になり芽が出、大きく発揮する事などあると思いますので、長い目で見、大切にすることなど大切かと思えます。（女性・80歳以上・鹿角）

○県立美術館「秋田の行事」は、小・中・高生は全員が鑑賞できる機会をつくるべきだと思います。子どもたちの心の中に美術・芸術に関して豊かさがめばえるはずで、身近なところに「本物」があるのもったいないと思います。「本物」にふれた人は、文化芸術の振興のためにいろいろなアイデアがあふれてくるのではないのでしょうか。（男性・60歳～69歳・秋田市）

○県人口が減少する中で、やはり子供の頃の体験が大切ではないかと思っています。（男性・60歳～69歳・仙北）

○無料で招待された、小学生の時に見た劇団四季が忘れられません。なかなか秋田では拝見できない貴重な体験をさせてもらえてとても嬉しかったです。（女性・20歳～29歳・秋田市）

F 交通に関すること

○交通の便が悪い。各施設が遠く、移動に時間がかかる。（女性・20歳～29歳・秋田市）

○年とともに、出掛けるのがおっくう。車なし、交通の便がどうしてもないため、歩くことが出来ない。（男性・80歳以上・秋田市以外）

○交通の便が悪いので、行きたくても県南に行けない。県内交流が図れば良いと思いません。（女性・60歳～69歳・北秋田）

○文化芸術について練習するにしても発表するにしてもにしても、作品に触れるにしても、交通の便が悪すぎる。観光客が来ても移動が大変だろうし、秋田は本当に移動が不便だなあという印象しか残らないと思う。なのでまた来たいとはなかなかならないと思う。少子高齢化、人口減少がますます進む中で「足」については一番に考慮しなければならない課題だと思う。（女性・40歳～49歳・秋田市）

G 活動に関すること

○県の文化芸術に対しボランティアとして関わりたいと思っても、ボランティアに関する情報が得られず参加できない現状。ボランティアを通し芸術に触れ、そこから人との関わりが増え、活動の充実、拡大につながるというメリットが生じるのでは…と思います。(女性・40歳～49歳・仙北)

○障害児、障害者が気軽に習える文化的習い事がなくて困っている。何かやらせたいけれど、団体も指導者も見つからない。(無回答・40歳～49歳・秋田市)

○どのようにすれば関われるかわからない。新規の人が入りやすい体制がないと思う。(男性・40歳～49歳・秋田市)

H 文化芸術への関心に関すること

○文化芸術の振興について良く理解していなかったので、今後興味を持ち勉強(理解)して行きたいと思います。(女性・70歳～79歳・秋田市)

○田舎にいるというだけで文化芸術に触れる機会が極端に少ないと実感しています。箱モノを作るのも大事ですが、気軽に「行きたい」と思える著名なアーティストを呼んで触れる機会を増やしたり、伝統芸能においては後継者の育成に重点を置くなど、ある程度ターゲットを絞って、それぞれの分野で最大限効果が発揮できる施策を推進することで、広く一般的に文化芸術が親しまれるようになるのではと思います。まずは興味を持ってもらうことが第一だと思います。(女性・30歳～39歳・秋田市)

○秋田の人口減少を防ぐ為にも、若い世代の方々に興味を持って生活を楽しんでいただきたいです。(県の文化芸術に親しみを持てるような施策の推進をお願いしたいです。)(女性・60歳～69歳・秋田市)

I 人口・人材に関すること

○秋田には地域地域に歴史に根ざした祭りや行事があります。大切な文化です。地域ごとに現状を細かく把握し、必要な予算を投入し、携わる人を増やしていかないと祭りはなくなり、地域は衰退してしまうと考えます。逆に言うと、お金をかけて人材を育成し、次世代につなげていくべきと思っています。(女性・50歳～59歳・山本)

○秋田県の経済が発展し、人口が増えなければ県の文化芸術は保存、継承されていきません。(男性・50歳～59歳・仙北)

○とにかく若い人が居ない。継承どころか存続すら危ない。まずは人口を増やす政策の方が先だと思う。(男性・50歳～59歳・秋田市)

J 地域に関すること

○秋田の文化芸術が発展することによって、秋田に関心を持ってくれる人がふえたり、秋田の人口が増えてくれたりしたら、そのサイクルによってより秋田が住みやすい県になると思います。(女性・19歳以下・秋田市)

○秋田市などの中心部に施設やイベントが集中していて、その他の地域に住んでいる者にとっては、参加しづらいのが現状です。もっと地域それぞれに目を向けていただけたら、と思います。(女性・30歳～39歳・仙北)

K 文化財に関すること

○古い建物も大切に維持、補強、改修工事により、安易に解体しないことを望みます。税金の無駄使いを無くして欲しい。(男性・60歳～69歳・秋田市)

○歴史的な建物や遺跡を活用したツアーなどがあれば良いと思う。地域にある文化財を知ってもらう機会が必要だと考える。興味を持ってもらうべきである。(女性・19歳以下・仙北)

L 経済に関すること

○文化芸術よりも生活優先の人が多いと思います。経済的余裕が文化芸術に興味をもつ人口を増やすのではないかと考えています。(男性・60歳～69歳・秋田市)

M その他

○施設等の箱物の充実も必要だが、それよりも県民が教養を身につけ、文化的な日常生活が送れるようになる事。そのための教育、働き方、男女共同参画、介護、子育て、すべてが繋がっているように思います。(女性・60歳～69歳・秋田市)

○県民の一人として今回の取り組みを応援していきたいと思います。興味や好みはありますが、これを機会に自分からも情報を得るようにし、参加していきたいと思います。(男性・20歳～29歳・仙北)

〈令和5年度文化芸術の振興に関する県民アンケート〉

令和5年11月

【調査へのご協力をお願い】

- ◇この調査は、文化芸術に関する県民の皆様の考えなどを把握し、今後の文化芸術振興施策に反映させることを目的として、秋田県が実施するものです。
お忙しいところお手数をお掛けしますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

【調査対象者】

- ◇県内在住の18歳以上の男女2,000人を、選挙人名簿から無作為に抽出しています。

【調査票の取扱い】

- ◇調査結果は、全てコンピュータを使って統計的に処理しますので、公表する調査結果から個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。
また、調査結果を他の目的に利用することも一切ありません。

【回答に当たってのお願い】

- ◇この調査には、宛名のご本人がお答えください。ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいで構いません。
◇黒又は青のボールペン、えんぴつで調査票に直接記入してください。
◇回答を1つだけ選んでいただく質問と、当てはまると思う順に1位から3位まで複数選んでいただく質問があります。

【調査票の返送について】

- ◇ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、12月17日(日)までに投函くださるようお願いいたします。
なお、返信用封筒にあなたの住所、氏名などの記載は必要ありません。
左下のQRコード又は「秋田県 電子申請・届出サービス」
https://s-kantan.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action
から、パソコン、スマートフォン、タブレットなどを利用したインターネット回答が可能です。インターネット回答の場合は、調査票の返送は不要です。

この調査に関する質問などがありましたら、次までお問い合わせください。



※電子回答IDは「文化芸術の振興に関する県民アンケートのご協力をお願い」文書の左下に記載しています。

秋田県観光文化スポーツ部文化振興課
読書活動・文化芸術推進チーム
〒010-8572 秋田市山王3-1-1
電 話：018-860-1530 (直通)
ファックス：018-860-3880
E-mail：bunkashinkouka@pref.akita.lg.jp

Q あなたご自身について

あなたご自身のことについてお聞かせください。

F1 性別 (〇は1つ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 無回答 |
|------|------|-------|

F2 年齢層 (〇は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 19歳以下 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70～79歳 | 8 80歳以上 | |

F3 居住地域 (〇は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 鹿角地域 (鹿角市・小坂町) |
| 2 北秋田地域 (大館市・北秋田市・上小阿仁村) |
| 3 山本地域 (能代市・藤里町・三種町・八峰町) |
| 4 秋田地域 (秋田市) |
| 5 秋田地域 (男鹿市・潟上市・五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村) |
| 6 由利地域 (由利本荘市・にかほ市) |
| 7 仙北地域 (大仙市・仙北市・美郷町) |
| 8 平鹿地域 (横手市) |
| 9 雄勝地域 (湯沢市・羽後町・東成瀬村) |

F4 職業 (〇は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 正規の職員・従業員 (役員を含む) |
| 2 非正規の職員・従業員 (期間従業員、契約社員、派遣社員を含む) |
| 3 自営業主・自由業 (自分で、又は共同で事業を営んでいる) |
| 4 家族従業者 (家族が営んでいる事業を手伝っている) |
| 5 主婦・主夫 |
| 6 学生 |
| 7 リタイア、無職 |
| 8 その他 () |

1 あなたの文化芸術に対する意識について

Q1 あなたは、県が策定している文化芸術施策の推進に関する計画「あきた文化振興ビジョン」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------------------|--------|
| 1 知っている | 2 知っているが、詳しい内容は分からない | 3 知らない |
|---------|----------------------|--------|

Q1-2 あなたは、文化芸術をつくり楽しむことが、人の生まれながらの権利であることを知っていますか。
※世界人権宣言や文化芸術基本法に定められている権利 (○は1つ)

- | | | |
|---------|----------------------|--------|
| 1 知っている | 2 知っているが、詳しい内容は分からない | 3 知らない |
|---------|----------------------|--------|

Q2 あなたは、日常生活の中で、文化芸術を鑑賞したり、自ら文化芸術活動を行ったりすることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 非常に大切だ | 2 ある程度大切だ | 3 あまり大切でない |
| 4 全く大切でない | 5 分からない | |

Q3 あなたは、文化芸術が果たす役割についてどのように考えますか。
(当てはまるところに1位から3位まで)

- | |
|-----------------------------|
| 1 楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える |
| 2 教養を深め、人間性を育む |
| 3 地域に対する愛着や誇りが育まれる |
| 4 地域における人々の結び付きを強める |
| 5 子供の心豊かな成長につながる |
| 6 人々の交流が盛んになり、地域に活気をもたらす |
| 7 高齢者や障害のある人の活躍の機会が生まれる |
| 8 脳の活性化などにより健康になる |
| 9 創造性や表現力を高める |
| 10 多様な人々の存在を理解し、共生することにつながる |
| 11 その他() |
| 12 特にならない |
| 13 分からない |

1位	2位	3位

Q4 あなたは、どのようなことがあれば、人々が文化芸術にもっと関心を持つようになると思いますか。
 (当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 自宅や職場の近くでたくさん催し物が行われるようになる
- 2 オリンピックのように社会全体が話題にするような大きな文化芸術のイベントが行われる
- 3 仕事・家事・育児・介護などが一段落して時間に余裕ができる
- 4 今より経済的な余裕ができる
- 5 無料で見られるコンサートや展覧会などが増える
- 6 テレビやインターネットなどのメディアを介して興味を持てるアーティストや作品に出会う
- 7 身近な伝統行事や民俗芸能、アーティストや作品などが注目され有名になる
- 8 その他()
- 9 特にない
- 10 分からない

1位	2位	3位

Q4-2 あなたが秋田県に住み続ける上で、文化芸術活動に関してどのようなことが重要だと思いますか。
 (当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 伝統行事や民俗芸能など地域の伝統文化があること
- 2 様々な価値観を反映した多様な文化芸術があること
- 3 子供たちが学校や地域で文化芸術に日常的に触れることができること
- 4 経済的状況に関わらず、人々が地域で文化芸術に日常的に触れることができること
- 5 障害のある人や性的少数者、外国人が排除されることなく文化芸術に触れることができること
- 6 その他()
- 7 特にない
- 8 分からない

1位	2位	3位

2 秋田県の文化芸術施策の推進について

Q5 あなたは、次の施策のうち、どれを重視すべきと考えますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 多様な人々の文化芸術活動への参加機会づくりと活動の活発化
- 2 県民が文化芸術に親しむ機会を増やす
- 3 公立文化施設の利用促進
- 4 文化芸術活動の顕彰などによる創作活動の増進
- 5 学校における文化芸術活動・体験を増やす
- 6 文化芸術を担う人材の育成、アーティストの活動支援と発表の場づくり
- 7 民俗芸能の継承支援
- 8 文化財の保存、伝統行事などの継承と積極的な活用
- 9 新たな分野の文化芸術活動に対する支援
- 10 文化芸術による交流人口・関係人口の拡大
- 11 文化芸術情報の多様な発信と観光・福祉・教育・産業など他分野との連携
- 12 その他()
- 13 特にない
- 14 分からない

1位	2位	3位

Q6 あなたは、特にどのような分野の施策を進めてほしいと思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 文学(小説、詩、短歌、俳句など)
- 2 音楽(クラシック、ポップス、歌謡曲、民謡など)
- 3 日本の伝統音楽(雅楽、箏曲、三味線、尺八など)
- 4 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など)、写真
- 5 演劇(現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど)
- 6 舞踊(ダンス、バレエ、日本舞踊など)
- 7 演芸(漫才、奇術・手品、大道芸など)
- 8 伝統芸能(歌舞伎、能など)
- 9 民俗芸能(番楽、手踊りなど地域特有の芸能)
- 10 生活文化(茶道、華道、書道、食文化など)
- 11 歴史的な建物や遺跡(建造物、景観、文化財)
- 12 その他()
- 13 特にない
- 14 分からない

1位	2位	3位

3 文化芸術との関わりについて

Q7 あなたがこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）に出向いて直接鑑賞した文化芸術イベントはありますか。（〇はいくつでも）

- 1 音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡、民謡など）
- 2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書など）、写真
- 3 演劇（現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（ダンス、バレエ、日本舞踊など）
- 5 映画（映画館で上映されたもの）
- 6 伝統芸能（歌舞伎、能など）
- 7 民俗芸能（番楽、手踊りなど地域特有の芸能）
- 8 現代アート
- 9 その他（)
- 10 鑑賞していない

Q7-2 Q7で「10 鑑賞していない」と答えた方にお聞きます。
文化芸術の鑑賞をされなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）

- 1 時間的な余裕がない
- 2 興味のある催し物が少ない
- 3 入場料が高い
- 4 情報量が少ない
- 5 施設や会場が遠く、交通の便が悪い
- 6 一緒に鑑賞する仲間がいない
- 7 エレベーターやスロープ、車椅子席など、バリアフリー対策が不十分
- 8 テレビやCDなどで鑑賞すれば十分
- 9 関心がない
- 10 その他（)

Q8 あなたはこの1年間に、県内外の文化施設など（屋外の会場も含む）で開催された文化芸術イベントに何回行きましたか。（〇は1つ）

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 1回 | 2 2～3回 | 3 4～5回 |
| 4 6回以上 | 5 0回 | 6 分からない |

Q8-2 Q8で「1～4」と答えた方にお聞きます。

そのうち、「県外」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（〇は1つ）

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 1回 | 2 2～3回 | 3 4～5回 |
| 4 6回以上 | 5 0回 | 6 分からない |

Q8-3 Q8で「1～4」と答えた方にお聞きます。

そのうち、「あきた芸術劇場ミルハス」で開催された文化芸術イベントには何回行きましたか。（〇は1つ）

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 1回 | 2 2～3回 | 3 4～5回 |
| 4 6回以上 | 5 0回 | 6 分からない |

Q8-4 Q8で「1～4」に答えた方にお聞きます。

コロナ禍前（令和元年度以前）に比べて、文化芸術イベントに行く機会が増えましたか。

（○は1つ）（※「ミルハス」以外で開催されるものを含みます。）

1 とても増えた	2 いくらか増えた	3 ほとんど変わらない	4 減った
----------	-----------	-------------	-------

Q9 あなたは、この1年間に、県内で文化芸術作品の創作、文化芸術イベントへの出演・参加、文化芸術事業でのボランティア活動などを行いましたか。（○はいくつでも）

1 文化芸術の創作・制作・実演
2 習い事（音楽、舞踊、茶道など）
3 地域の祭りなど伝統行事への参加
4 文化芸術イベントなどの開催・運営のための活動
5 歴史的な建物や遺跡などの保存・活用のための活動
6 その他（ ）
7 活動していない

Q9-2 あなたが県内で文化芸術活動をするに当たって、不便や不満を感じていることは何ですか。

（当てはまると思う順に1位から3位まで）

1 練習や稽古をする場所が少ない
2 学ぶための教室や講習が少ない（指導者がいない）
3 活動するための情報が少ない
4 展示や発表の場が少ない
5 忙しくて時間を確保できない
6 一緒に活動する仲間がいない
7 その他（ ）

1位	2位	3位

Q9-3 あなたは、「あきた芸術劇場ミルハス」の練習室・創作室・研修室や、秋田駅前の商業施設・フォンテAKITA 6階の「あきた文化交流発信センター」（ふれあーるAKITA）の活動発表スペースを知っていますか。（○は1つ）

あきた芸術劇場
ミルハスの
練習室・創作室・研修室

1 知っている	2 知らない
---------	--------

あきた文化交流
発信センター
（ふれあーるAKITA）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

4 文化芸術活動の活発化と鑑賞機会の充実について

Q10 あなたがお住まいの地域に、文化芸術団体が気軽に発表し、住民が日常的に文化芸術に触れることのできる場はありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 地域にあり、利用している | 2 地域にあることは知っているが、ほとんど利用していない |
| 3 地域にない | 4 地域にあるかどうか分からない |

Q11 あなたがお住まいの地域の文化芸術に親しめる環境を充実させるためには、何が必要だと思いますか。(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 美術館やホール・劇場などの文化施設を増やす
- 2 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報を増やす
- 3 公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業を増やす
- 4 アーティストや文化芸術団体の活動の支援
- 5 著名なアーティストを呼ぶ
- 6 伝統行事や民俗芸能などの継承・保存
- 7 歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進
- 8 子供が文化芸術に親しむ機会を増やす
- 9 文化芸術活動の表彰・顕彰
- 10 文化芸術活動の記録・保存・発信のデジタル化
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 分からない

1位	2位	3位

Q12 美術館やホール・劇場などの文化施設(私設を含む)を地域の文化芸術活動の拠点(主な活動場所)とするために、あなたは県や市町村が特にどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 公演や展覧会を企画運営するために必要な専門知識を持つスタッフを養成する
- 2 作品や公演を楽しむ団体や、企画や運営に加わるボランティアを養成する
- 3 サービス向上のための企画運営面の工夫やコスト縮減に民間の知恵や工夫を取り入れる
- 4 利用者のニーズに合わせ利用時間や利用方法の見直しを行う
- 5 高齢者や障害のある人でも利用しやすくなるように設備を整える
- 6 学校や福祉施設などへ出向いて行う館外活動を充実させる
- 7 優れた公演や展覧会などの鑑賞機会を増やす
- 8 催し物の広報、周知を増やす
- 9 その他()
- 10 特にない
- 11 分からない

1位	2位	3位

Q13 高齢者や障害のある人など多様な人々が文化芸術活動を行い、楽しめるようにするため、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

- 1 障害のある人が創作した作品などを鑑賞できる機会を増やす
- 2 誰もが同じ機会に活動できるような支援を行う
- 3 高齢者や障害のある人などに対し、文化施設の入場料などを低額又は無料にする
- 4 音声ガイドや多目的トイレ、スロープの設置など、施設のバリアフリー化を進める
- 5 作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を作る
- 6 鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材を育成する
- 7 年齢や障害の有無に関わらず、情報を入手しやすい環境をつくる
- 8 その他()
- 9 特別な支援を行う必要はない
- 10 特にない
- 11 分からない

1位	2位	3位

Q14 文化芸術に関する情報を得ることができるようにするためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

- 1 新聞(折り込み広告も含む)、テレビ、ラジオなどのマスコミを活用した情報提供
- 2 県や市町村の広報紙によるPR
- 3 文化芸術に関する定期的な雑誌などの発行
- 4 インターネットやフェイスブックなどのSNSによる情報発信
- 5 LINEやメルマガなどによる個別の情報発信
- 6 クチコミ(利用者の声、評判)
- 7 文化施設などにおける情報発信
- 8 その他()

1位	2位	3位

Q 1 5 あなたは、どうすれば美術館やホール・劇場などの文化施設にもっと出かけやすくなると思いますか。（当てはまると思う順に 1 位から 3 位まで）

- 1 住んでいる地域やその近くに文化施設ができる(増える)、交通の便が良くなる
- 2 入場料が安くなる
- 3 閉館時間を遅くして、夜間でも鑑賞できるようにする
- 4 開催されるイベントなどの情報が広く丁寧にお知らせされる
- 5 年齢や障害の有無に関わらず利用しやすい設備やサービスが増える
- 6 小さな子供を連れていても安心な設備やサービスが増える
- 7 著名なアーティストや地域にゆかりのあるアーティストの公演や展覧会が開催される
- 8 作品の解説やワークショップの開催などにより、学びの機会が提供される
- 9 周辺の文化施設や観光施設との共同パスなどにより、周遊しやすい仕組みが作られる
- 10 その他()
- 11 特にない
- 12 分からない

1位	2位	3位

5 次代を担う後継者や若手アーティストの育成と活動支援について

Q 1 6 あなたは、子供が文化芸術を体験する場合、どのような取組が必要だと思いますか。（当てはまると思う順に 1 位から 3 位まで）

- 1 学校における公演や展示などの鑑賞体験を増やす
- 2 学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を増やす
- 3 学校における華道、茶道、書道、食文化などの生活文化の体験機会を増やす
- 4 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を増やす
- 5 学校と地域の文化施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う
- 6 美術館やホール・劇場など地域の文化施設における、子供向けの鑑賞機会や学習機会を増やす
- 7 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化芸術体験の機会をより多くつくる
- 8 その他()
- 9 特にない
- 10 分からない

1位	2位	3位

Q17 子供の文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 楽しさや感動が生活に豊かさや潤いを与える
- 2 教養が身に付き、人間性が育まれる
- 3 地域に対する愛着や誇りが育まれる
- 4 地域の人々との結び付きを強める
- 5 心豊かな成長につながる
- 6 コミュニケーション能力が向上する
- 7 障害のある人の活動の機会が生まれる
- 8 脳の活性化などにより健康になる
- 9 創造性や表現力を高める
- 10 多様な人々の存在を理解し、共生することにつながる
- 11 その他()
- 12 特にない
- 13 分からない

1位	2位	3位

Q18 あなたは、文化芸術活動をしていく上で、何が不足していると思いますか。
(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 文化芸術活動に対する助成金
- 2 文化芸術活動に関する情報発信、周知、広報
- 3 文化芸術活動の成果を生かすことのできる機会や場(公募、コンクールなど)
- 4 文化芸術活動のオンライン発信のための支援
- 5 人的ネットワークづくりのための機会や場
- 6 人材・後継者育成の支援
- 7 文化芸術活動の発表・練習などを行うことができる施設の情報提供
- 8 観光・福祉・教育・産業など他分野と連携するための支援
- 9 その他()
- 10 特にない
- 11 分からない

1位	2位	3位

6 文化芸術の継承と発展、創造について

Q19 あなたは、県特有の地域の伝統行事や民俗芸能の継承が図られていると思いますか。
(○は1つ)

- 1 十分に図られていると思う
- 2 どちらかといえば図られていると思う
- 3 どちらかといえば図られていないと思う
- 4 図られていないと思う
- 5 分からない

Q20 あなたは、この5年間（コロナ禍の時期を除く。）に、お住まいの地域の伝統行事や民俗芸能の伝承活動に関わりましたか。（※出演、運営、ボランティアなど、関わり方は問いません。）
（○は1つ）

- 1 関わったし、今後も続けたいと思う
- 2 関わったが、今後は続けたいとは思わない
- 3 関わっていないが、今後関わってみたいと思う
- 4 関わっていないし、今後も関わりたいとは思わない

Q20-2 Q20で、「2 関わったが、今後は続けたいとは思わない」又は「4 関わっていないし、今後も関わりたいとは思わない」と答えた方にお聞きます。
あなたがそう考える理由は何ですか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

- 1 時間的な余裕がない
 - 2 どうすれば参加できるのか分からない
 - 3 一緒に活動する仲間がいない
 - 4 参加者があらかじめ決められている（当番制、自治会役員など）
 - 5 関係者との付き合いが苦手
 - 6 参加に掛かる費用が高い
 - 7 興味がない（楽しいと思えない）
 - 8 その他（
- | 1位 | 2位 | 3位 |
|----|----|----|
| | | |

Q21 文化芸術活動に関わっている方にお聞きます。
あなたは、地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承に関して、今後県や市町村は特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。（当てはまると思う順に1位から3位まで）

- 1 指導者を養成・派遣する
 - 2 練習や後継者養成の場となる施設をつくる
 - 3 子供たちが伝統行事や民俗芸能に参加できるように学校教育で取り組む
 - 4 地域のみでの保存・継承が困難なものについては、地域外からのボランティアによる支援などを図る
 - 5 伝統行事や民俗芸能の公演などの機会を増やす
 - 6 伝統行事や民俗芸能を保存・継承する団体や人々の交流活動を支援する
 - 7 現存する伝統行事や民俗芸能などを映像として記録、保存し、インターネットなどで広く見ることができるようにする
 - 8 地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承活動に対し助成する
 - 9 その他（
 - 10 特になし
 - 11 分からない
- | 1位 | 2位 | 3位 |
|----|----|----|
| | | |

7 地域の文化芸術資源を生かした交流人口・関係人口の拡大について

Q2 2 あなたは、文化芸術資源を活用して観光客を増やしたり、それによって地域が活性化したり、県外や海外から注目されたりするようになるためには、どのようなことが重要だと思いますか。

(当てはまると思う順に1位から3位まで)

- 1 文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている
- 2 歴史的な建物や遺跡などを活用したイベントが開催される
- 3 文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある
- 4 様々な文化芸術の鑑賞や、茶道、華道、書道、食文化などの生活文化の体験ができる総合的なイベントが開催される
- 5 文化芸術資源の所在や内容に関する充実した情報が分かりやすく表示・解説されている
- 6 文化芸術について学べたり、体験できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している
- 7 公衆無線LANなどの通信環境が整備され、出先で文化芸術資源に関する情報が入手しやすい
- 8 訪日外国人への対応(多言語対応や様々な文化、慣習に対応するサービス)が充実している
- 9 文化芸術資源周辺への交通手段、トイレ、歩道、バリアフリー対応などの環境が整備されている
- 10 文化芸術資源の周辺に飲食店や商業施設が整備されている
- 11 著名なアーティストが身近にいて、交流することができる
- 12 文化芸術資源に関する情報が国内外に発信されている
- 13 その他()

1位	2位	3位

8 その他

Q2 3 県の文化芸術施策の推進に関することで、ご意見がありましたらお聞かせください。

これでアンケートは終わりです。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

県の文化芸術施策の推進に関する計画「あきた文化振興ビジョン」はこちら



県内の文化芸術イベント情報は、あきた文化情報サイト「ブンカdeゲンキ」から



令和5年度
文化芸術の振興に関する
県民アンケート
単純集計結果

令和6年3月

発行 秋田県観光文化スポーツ部文化振興課

〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1番1号